

2023年6月新聞書評に掲載された本



ビジュアルでわかる江戸・東京の地理と歴史

鈴木 理生/鈴木 浩三 著

日本実業出版社

かつて低い台地と湿地だった江戸は、埋め立てられて「町」になり、激動の明治・大正・昭和時代を経て、「巨大都市」に変化してきた。江戸・東京の「地理」と「歴史」の関係をビジュアルに描く。

産経新聞 2023/06/03

2022:11./ 230p
978-4-534-05961-1

¥1,980〔税込〕



9 784534 059611



最後の祈り

薬丸 岳 著

KADOKAWA

牧師である保阪宗佑は、娘を暴漢に殺された。罪の意識のかけらもない犯人を地獄へ突き落としたいと考え、教諭師として犯人と対面する。死刑執行の日が迫るなか、2人の対話が始まり…。『小説野性時代』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/06/04

2023:4./ 413p
978-4-04-110993-9

¥2,090〔税込〕



9 784041 1109939



ホッキョククジラのボウ~200年のたび~

アレックス・ボースマ、ニック・パイエンソン 著

小学館

200年以上生きる個体もあるといわれるホッキョククジラ。その長い一生のなかで、たくさんのなかまと交信し、移動し、生活をして…。200年前に生まれたホッキョククジラのボウが見た、北極海の物語。解説も収録。

産経新聞 2023/06/04

2023:5./ 48p
978-4-09-725196-5

¥1,980〔税込〕



9 784097 251965



極楽征夷大将軍

垣根 涼介 著

文藝春秋

動乱前夜、北条家の独裁政権が続き鎌倉府の信用は地に堕ちていた。足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の粛清から足利家を守ろうとするが…。足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。『オール讀物』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/06/04

2023:5./ 549p
978-4-16-391695-8

¥2,200〔税込〕



9 784163 916958

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2023年6月時点での税込み価格です。



97歳料理家タミ先生の台所おさらい帖

桧山 タミ 著
文藝春秋

97歳の料理家、タミ先生が始めた「台所じまい」。銅のソテーパンから愛用の花柄エプロンまで、手元にあるのは人生をいっしょに過ごした「相棒」ばかりで…。気持ちよく使えて信頼できる、一生ものの道具を紹介します。

産経新聞 2023/06/04

2023:5./ 127p
978-4-16-391701-6

¥1,870〔税込〕



コロナ漂流録(田口・白鳥シリーズ)

海堂 尊 著
宝島社

日本社会に波状攻撃で襲いかかるコロナ。ホスピス病棟とコロナ病棟の責任者を兼務する田口公平は、新任の中堅医師・洲崎に手を焼いていた。問題解決のため、禁断の一手、厚生労働省の白鳥圭輔を東城大に召喚するが…。

産経新聞 2023/06/04

2023:4./ 311p
978-4-299-04182-1

¥1,760〔税込〕



J - style Utsuwa 私のうつわ練習帖

田中敦子 著
春陽堂書店

毎日使ううつわ、晴れの日・寛ぐ日のうつわ…。作家、産地、職人のうつわや手仕事道具は暮らしを楽しく豊かにする！工芸ライターがうつわのある日々の暮らしを写真とともに紹介。『婦人画報デジタル』連載などを加筆修正。

産経新聞 2023/06/04

2023:3./ 143p
978-4-394-98006-3

¥2,200〔税込〕



第一次世界大戦と日本参戦～揺らぐ日英同盟と日独の攻防～(歴史文化ライブラリー 572)

飯倉 章 著
吉川弘文館

第一次世界大戦に日本はなぜ参戦し、どう戦ったのか。戦勝国日本は何を得て、何を失ったのか。同床異夢の日英同盟や日中の角逐、対独青島攻囲戦の実相、南洋群島占領を詳述し、参戦の歴史を読み解く。

産経新聞 2023/06/04

2023:6./ 8p,302p
978-4-642-05972-5

¥2,200〔税込〕



生きることの意味を問う哲学～森岡正博対談集～

森岡正博 著
青土社

反出生主義はほんとうに自殺を導かないのか。加害者であることは引き受けられるのか。気鋭の論者とともに生きることの深淵や現代における重要テーマを語り合った対談集。『現代思想』掲載に新たな語り下ろしを加えて書籍化。

産経新聞 2023/06/04

2023:4./ 220p
978-4-7917-7541-5

¥2,200〔税込〕





現代日本経済史～現場記者 50年の証言～

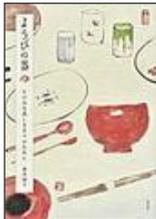
田村 秀男 著
ワニブックス

高度経済成長の公害・環境問題、ドル・ショック、石油危機、プラザ合意、日米通商摩擦、バブル崩壊、25年デフレ…。戦後日本経済の節目、節目に居合わせたジャーナリストが、現場で見聞したことを基にその病巣を鋭く抉る。

産経新聞 2023/06/04

2023:5./ 308p
978-4-8470-7295-6

¥1,980〔税込〕



ようびの器～ものみな美しき日々のために～

眞木 啓子 著
青幻舎

1970年に大阪で創業した「工芸店ようび」の店主が、50年余年に亘る商いについて、そのための器作りや料理への見識、顧客との交流などを通じて、和の器の奥深さ、食事の貴さを描き出す。美しい写真も豊富に収録。

産経新聞 2023/06/04

2023:3./ 271p
978-4-86152-909-2

¥3,850〔税込〕



保守とは横丁の蕎麦屋を守ることであり～コロナ禍「名店再訪」から「保守再起動」へ～

福田 和也 著
河出書房新社

名店とは客と街、時代と歴史が織りなす文化そのものである。美食と痛飲の果てに体調を損ねた保守思想家が、コロナ禍に呻吟する轟頂の店を再び訪れ、料理と歓待を存分に味わう。『サンデー毎日』連載に加筆、再構成。

産経新聞 2023/06/04、読売新聞 2023/06/25

2023:4./ 137p
978-4-309-03103-3

¥1,870〔税込〕



安西水丸東京ハイキング

安西水丸 著
淡交社

新緑の中で深川めし、幼い頃に雨宿りした迎賓館赤坂離宮、勝鬃橋から眺めた夜景…。東京で生まれ育った安西水丸が、東京の街を歩き、通りかかる名所旧跡や思い出の地をイラスト・俳句とともに綴る。『なごみ』連載を書籍化。

産経新聞 2023/06/04、毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 127p
978-4-473-04557-7

¥1,540〔税込〕



ちきゅうパスポート～えほん作家から地球の子どもたちへ～

B L 出版

「はじまりの国」「あかりを生み、とどける国」「ぬくぬくの国」「愛しても愛しても愛し足りない国」…。24人のえほん作家が描く想像の国々。国境を越えて心をつなぐジャバラ絵本。

産経新聞 2023/06/10

2023:3./ 47p
978-4-7764-1080-5

¥1,980〔税込〕





国宝普賢菩薩像令和の大修理全記録

東京美術

東京国立博物館を代表する国宝「普賢菩薩像」。平安時代の仏画の傑作の本格的な解体修理の一部始終を事前準備から修理、納品、修理後の養生期に至るまで全て記録。総括座談会も収録。様々な文化財保護に活用できる知恵が満載。

産経新聞 2023/06/10

2023:4./ 135p
978-4-8087-1263-1

¥2,970〔税込〕



土偶を読むを読む(縄文 ZINE Books)

望月 昭秀／小久保拓也／山田 康弘／佐々木 由香／山科 哲／白鳥兄弟／松井 実／金子 昭彦／吉田 泰幸／菅 豊 著

文学通信

竹倉史人著「土偶を読む」が世間一般の評価とは対照的に、考古学界ではほとんど評価されていないのはなぜなのか。非対称な評価の理由と、「土偶を読む」で主張される「土偶の正体」と、それに至る論証を検証する。

産経新聞 2023/06/10

2023:4./ 431p
978-4-86766-006-5

¥2,200〔税込〕



きみはサイコロを振らない

新名 智 著

KADOKAWA

中学時代の友人の死が忘れられず、日々を淡々と過ごす高校生の志崎晴。同級生に頼まれ、「遊ぶと死ぬ」ゲームを探すことに。呪いのゲームの正体を追ううちに、友人の死の真相に近づき…。青春ホラーミステリ。

産経新聞 2023/06/11

2023:5./ 286p
978-4-04-113533-4

¥1,815〔税込〕



投身

白石 一文 著

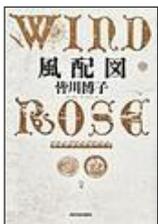
文藝春秋

介護に疲れて次々と男を買う女、妹の夫との際どい週末のひとつ、両親・祖父母が遺した消えない禍根、忘れ得ぬ男との別離と心に刻まれた深い傷跡。いくつもの人生が絡み合い…。書き下ろし長編小説。

産経新聞 2023/06/11

2023:5./ 242p
978-4-16-391697-2

¥1,925〔税込〕



風配図～WIND ROSE～

皆川 博子 著

河出書房新社

12世紀。少女ヘルガは強いられた結婚から逃れ、交易商を志すが…。バルト海交易で栄える三都市を舞台に、不条理と動乱の中、自らの道を求め生きる少女たちを詩歌や戯曲形式も交えて描く。『文藝』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/06/11

2023:5./ 277p
978-4-309-03108-8

¥2,398〔税込〕





北極海～世界争奪戦が始まった～(PHP 新書 1354)

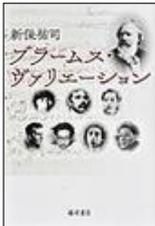
石原 敬浩 著
P H P 研究所

地球温暖化により減少の一途を辿る北極の氷。各国は来たるべき時に備えて科学調査や資源探査活動を重ね、権益確保のために軍事力の強化、基地の整備を進めている。資源と航路をめぐる争いについて解説する。

産経新聞 2023/06/11

2023:5./ 219p,16p
978-4-569-85473-1

¥1,122 [税込]



ブラムス・ヴァリエーション

新保 祐司 著
藤原書店

コロナ禍にブラームスの作品を1日1曲、ほぼ全て聴き尽くした著者が、音楽の主題から、文学・思想・人間・世界・文明へと自在に「変奏」を展開し、現代への視座を見出した批評集。

産経新聞 2023/06/11

2023:4./ 329p
978-4-86578-384-1

¥2,860 [税込]



甦る戦災樹木～カラー版～

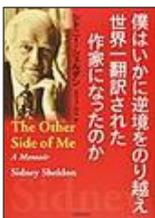
菅野博貢 著
さくら舎

燃える町、逃げ惑う人々…。あの日、樹々は何を見たのか。2014年から2023年にかけて行った、空襲の生々しい損傷を残す全国の戦災樹木への調査・探索・研究をもとに、戦争と戦後を考える。

産経新聞 2023/06/11

2023:5./ 363p
978-4-86581-385-2

¥3,960 [税込]



僕はいかに逆境をのり越え世界一翻訳された作家になったのか

シドニー・シェルダン、エリコ・ロウ 著
出版文化社

世界的なベストセラー作家として著名なアメリカ人作家、シドニー・シェルダンの自伝。自殺を考えた少年時代から、並外れた努力の末に作家となる夢をかなえ、幸運をつかむまでの半生と、苦難と成功の物語を綴る。

産経新聞 2023/06/11

2023:6./ 366p
978-4-88338-706-9

¥2,530 [税込]



おれに聞くの?～異端文学者による人生相談～

山下 澄人 著
平凡社

モチベーションを保つには。人が読みたくなる文章とは。他者と共に生きるとは…。芥川賞作家・山下澄人が、生き方、書くこと、人間関係にまつわる悩みに答える。

Mond 掲載に加筆修正し書籍化。

産経新聞 2023/06/11、朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 190p
978-4-582-83925-8

¥1,980 [税込]





名画を見る眼〜カラー版〜<1> 油彩画誕生からマネまで(岩波新書 新赤版 1976)

高階 秀爾 著
岩波書店

西洋絵画の本質を一步進んで理解したい人に向けた西洋美術鑑賞の手引き。1 は、ルネサンスから 19 世紀までの 15 点の代表的名画を取りあげ、絵画を楽しむ基本や、隠された意図・意味を探りながら解説する。

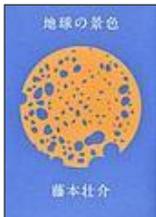
産経新聞 2023/06/17

2023:5./ 3p,231p
978-4-00-431976-4

¥1,364 [税込]



9 78 4 00 4 3 1 9 7 6 4



地球の景色

藤本社介 著
エーディーエー・エディタ・トーキョー

世界を駆ける気鋭の建築家が、日々訪れるいろいろな場所で感じたこと、考えたこと、そこから連想して思い出されるさまざまな建築や出来事などを交えて、建築の現代と未来について綴る。『GA JAPAN』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/06/17

2023:4./ 533p
978-4-87140-695-6

¥3,190 [税込]



9 78 4 87 1 4 0 6 9 5 6



神さまのいない場所で

伊東友香 著
中央公論新社

逃げたかったのに 逃げなかったのは なんてだろう 逃げたいのに 逃げないのは なんてだろう 愛のためと言うのは 簡単だけど(「愛のため」より) 詩集。

産経新聞 2023/06/18

2023:6./ 77p
978-4-12-005660-4

¥1,320 [税込]



9 78 4 12 0 0 5 6 6 0 4



企業戦略とアート〜世界視点で読む〜(光文社新書 1262)

上坂真人 著
光文社

なぜ世界のトップ企業は事業としてアートに投資するのか。世界標準のアート産業を日本に普及すべく活動する著者が、ビジネスとしてのアートの役割と活用法を、豊富な事例とデータから分析・提言する。

産経新聞 2023/06/18

2023:6./ 345p
978-4-334-04669-9

¥1,122 [税込]



9 78 4 33 4 0 4 6 6 9 9



列車で行こう!JR 特急大図鑑

櫻井 寛 著
世界文化社

JR 北海道から JR 九州まで、2023 年 3 月現在で運行されている全 121 特急を網羅した車両図鑑。停車駅、最高速度、車両と編成などのデータも充実。地名をはじめ全ての漢字に読みがな付き。

産経新聞 2023/06/18

2023:4./ 303p
978-4-418-23209-3

¥3,630 [税込]



9 78 4 41 8 2 3 2 0 9 3



蝶の墓標

弥生 小夜子 著

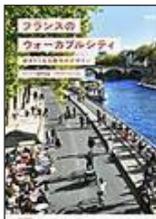
東京創元社

心臓の病と半身を覆う痣を持ちながら、擲楯に対し苛烈なまでの矜持を示した少女・夏野。高校生になって再会した瑞葉は、蝶に羽化したような夏野に魅了される。自殺した同級生の死を調査するなかで、ふたりは距離を縮め…。

産経新聞 2023/06/18

2023:5./ 233p
978-4-488-02892-3

¥1,870 [税込]



フランスのウォークブルシティ〜歩きたくなる都市のデザイン〜

ヴァンソン 藤井 由実 著

学芸出版社

自動車交通の抑制、道路空間の再配分等、歩く人や自転車と賑わうウォークブルな街づくりを実践してきたフランス。15分都市からスマートシティまで、パリなど各地で進むストリート+都市の再編を多数の事例とともに紹介する。

産経新聞 2023/06/18

2023:5./ 270p
978-4-7615-2854-6

¥2,970 [税込]



日本を一番愛した外交官〜ウィリアム・キャッスルと日米関係〜

田中 秀雄 著

芙蓉書房出版

日本とアメリカは戦ってはならない! 昭和初期、日米間に橋を架けることを終生の志とした米人外交官ウィリアム・キャッスル。駐日大使、国務次官を歴任した彼の思想と行動を追う。

産経新聞 2023/06/18

2023:3./ 295p
978-4-8295-0856-5

¥2,970 [税込]



川端康成の話をしようじゃないか

佐伯 一麦/小川 洋子 著

田畑書店

あまりに哀しく、あまりに美しい(=グロテスク)。世界はまだ本当の川端康成を知らない。没後半世紀を経て、いまなお読み継がれる川端文学の魅力の小川洋子と佐伯一麦が語り明かす。

産経新聞 2023/06/24

2023:4./ 180p
978-4-8038-0413-3

¥1,980 [税込]



裏日本的〜くらい・つらい・おもしろ・みたい〜

正津勉/正津勉 著

作品社

豪雪と日本海の荒波に晒される人と風土。越中守として赴任した大伴家持、若狭を愛し続けた水上勉など、古事記・万葉から近・現代までの文学作品に描かれた「裏日本」の真底に迫る。

産経新聞 2023/06/24

2023:5./ 261p
978-4-86182-979-6

¥2,970 [税込]





コンテナから読む世界経済～経済の血液はこの「箱」が運んでいる!～

松田 琢磨 著

KADOKAWA

コンテナの箱は何を入れ、どこに向かい、世界をどう動かすのか。輸送量からわかる各国の経済状況、金融政策・環境規制が及ぼすコンテナ輸送への影響など、さまざまなテーマに沿ってコンテナ輸送と経済の関係を解説する。

産経新聞 2023/06/25

2023:3./ 286p
978-4-04-112497-0

¥1,980〔税込〕



空想の海

深緑 野分 著

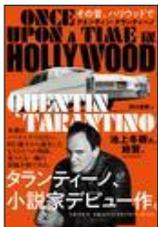
KADOKAWA

奇想と探究の物語作家・深緑野分のデビュー10周年を記念した作品集。「緑の子どもたち」「空へ昇る」など、ミステリ、児童文学、幻想ホラーなど“読む楽しさ”が詰まった11の物語を収録する。

産経新聞 2023/06/25

2023:5./ 252p
978-4-04-113015-5

¥1,815〔税込〕



その昔、ハリウッドで

クエンティン・タランティーノ 著

文藝春秋

名作「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド」をタランティーノ監督自ら小説化。単なるノベライズではなく、映画にはない場面や物語、映画とは異なる結末が楽しめる、もうひとつの物語。

産経新聞 2023/06/25

2023:5./ 452p
978-4-16-391703-0

¥3,025〔税込〕



禅の心で大切な人を見送る～残された人が「よく生きる」ための心の整え方～

枅野俊明 著

光文社

禅とは、いつ、誰が旅立つともしれないこの人生を精一杯生き切るための知恵。残された人々の行き場のない「悲しみ」「後悔」に寄り添う禅僧が、よく生きるための「禅の心」を伝える。

産経新聞 2023/06/25

2023:4./ 215p
978-4-334-95373-7

¥1,760〔税込〕



海の向こうでニッポンは(平凡社新書 1029)

井上 章一 著

平凡社

アメリカのテリヤキ、西陣織のイスラム服、ドイツの盆栽、酒…。現地に適応した驚きの「メイド・イン・ジャパン」の数々。日本から海外への文化の広がりに光をあて、日本そのものを捉え直す。『産経新聞』ほか掲載を新書化。

産経新聞 2023/06/25

2023:5./ 243p
978-4-582-86029-0

¥1,012〔税込〕





シャンドル・マーチャーシュ〜地中海の冒険〜<上>(ルリユール叢書)

ジュール・ヴェルヌ 著

幻戯書房

祖国ハンガリーの独立に向けた蜂起を計画し、順調に準備を進めていたはずの大貴族シャンドル伯爵を待ち受ける試練とは。手に汗握る、狂瀾怒涛の海洋冒険物語。エツェル版挿絵全点掲載の新訳。

産経新聞 2023/06/25

2023:5./ 453p
978-4-86488-272-9

¥4,620〔税込〕



シャンドル・マーチャーシュ〜地中海の冒険〜<下>(ルリユール叢書)

ジュール・ヴェルヌ 著

幻戯書房

悪党どもに正義の鉄槌を下さんとして、神出鬼没の謎多き医師アンテキルト博士とその仲間たちが地中海を舞台に躍動する。手に汗握る、狂瀾怒涛の海洋冒険物語。エツェル版挿絵全点掲載の新訳。

産経新聞 2023/06/25

2023:5./ 375p
978-4-86488-273-6

¥4,070〔税込〕



戦略物資の未来地図〜地政学から読み解く!〜

小山堅 著

あさ出版

脱ロシアとLNG争奪戦、中東の脱・石油依存…。大国による資源確保の動きが新たな局面を迎えるなか、国家の盛衰を懸けて各国の思惑が激しく交錯する。分断する世界の未来を、“最新の資源情勢”から読み解く。

産経新聞 2023/06/25

2023:6./ 295p
978-4-86667-498-8

¥1,760〔税込〕



ふなふな船橋

吉本 ばなな 著

朝日新聞出版

書店の店長・立石花は12歳の時に一家離散し、親戚のおばさんと船橋で暮らすように。その頃から少女が出てくる夢を何度も見るが…。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/06/03

2015:10./ 239p
978-4-02-251309-0

¥1,430〔税込〕



旅する練習

乗代 雄介 著

講談社

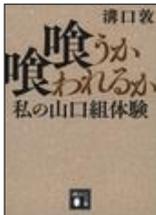
中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て…。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/06/03

2021:1./ 170p
978-4-06-522163-1

¥1,705〔税込〕





喰うか喰われるか〜私の山口組体験〜(講談社文庫 み 74-1)

溝口 敦 著
講談社

ヤクザが日常的に一般人を追詰めていた時代、どう脅され、どう報じてきたのか。日本最大の組織暴力と真っ向から立ち向かい続けた著者による、半世紀にわたった戦いの記録。

朝日新聞 2023/06/03

2023:4./ 358p
978-4-06-531464-7

¥814 [税込]



みかづき(集英社文庫 も 27-4)

森 絵都 著
集英社

昭和 36 年。小学校用務員の吾郎は、勉強を教えていた児童の母親・千明に誘われ、学習塾を立ち上げる。千明と結婚し、家族になった吾郎。塾も順調に成長するが、予期せぬ波瀾が 2 人を襲い…。NHK ドラマの原作。

朝日新聞 2023/06/03

2018:11./ 617p
978-4-08-745806-0

¥1,155 [税込]



海が見える家(小学館文庫 は 3-1)

はらだ みずき 著
小学館

文哉が入社 1 ヶ月で会社を辞めた直後、父が亡くなったという連絡が。霊安室で対面した父は、なぜか記憶とはまるで違う風貌をしていた。父の足跡をたどりはじめた文哉は、意外な事実を突きつけられていき…。

朝日新聞 2023/06/03

2017:8./ 341p
978-4-09-406439-1

¥715 [税込]



野菊の墓 改版(新潮文庫)

伊藤 左千夫 著
新潮社

政夫と民子は仲の良いところ同士だが、政夫が 15、民子が 17 の頃には、互いの心に清純な恋が芽生えていた。しかし民子が年上であるために、ふたりの思いは遂げられず、政夫は町の中学へ、民子は強いられ嫁いでいく。

朝日新聞 2023/06/03

1986:1./ 160p
978-4-10-104801-7

¥374 [税込]



青べか物語 第 2 版(新潮文庫 や-3-9)

山本 周五郎 著
新潮社

うらぶれた漁師町・浦泊に住み着いた私は、言葉巧みにボロ舟「青べか」を買わされ…。貧しく素朴だが、常識外れの狡猾さと愉快さを併せ持つ人々。その豊かな日々を巧みな筆致で描く自伝的小説。

朝日新聞 2023/06/03

2019:1./ 388p
978-4-10-113484-0

¥693 [税込]





北関東の異界エスニック国道 354 号線～絶品メシとリアル日本～

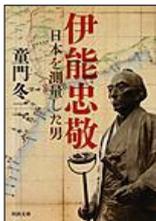
室橋 裕和 著
新潮社

群馬県高崎市から茨城県銚田市まで北関東を横断する一本の道、誰が呼んだか「エスニック国道」は知る人ぞ知る異国飯の本場だ。急速に「移民社会」化が進む日本の縮図、国道 354 号線を旅するノンフィクション。

朝日新聞 2023/06/03

2023:3./ 279p
978-4-10-354981-9

¥1,760〔税込〕



伊能忠敬～日本を測量した男～(河出文庫 と 4-2)

童門 冬二 著
河出書房新社

緯度一度の正確な長さを知りたい。伊能忠敬が奥州から蝦夷にかけての測量の旅に向かったのは、1800 年、すでに家督も譲った 55 歳の春であった。初めて日本の正確な地図を作成した晩熟の男の生涯を描く。

朝日新聞 2023/06/03

2014:2./ 270p
978-4-309-41277-1

¥924〔税込〕



裁判官の爆笑お言葉集(幻冬舎新書)

長嶺 超輝 著
幻冬舎

「死刑はやむを得ないが、私としては、君に出来るだけ長く生きてもらいたい」裁判官は無味乾燥な判決文を読み上げるだけ、とっていたら大間違い。法廷での個性あふれる肉声を集めた本邦初の語録集。

朝日新聞 2023/06/03

2007:3./ 219p
978-4-344-98030-3

¥792〔税込〕



東京史～七つのテーマで巨大都市を読み解く～(ちくま新書 1727)

源川 真希 著
筑摩書房

明治維新による誕生から今日までの約 150 年間、破壊と再生を繰り返しダイナミックに発展してきた東京。いまや世界的都市となった東京を様々な角度から見つめ、読み解き、その歴史を一望する。

朝日新聞 2023/06/03

2023:5./ 279p
978-4-480-07552-9

¥990〔税込〕



小津安二郎と七人の監督(ちくま文庫 き 18-3)

貴田庄 著
筑摩書房

小津安二郎は、ローアングルから撮ったショットを積み重ねる静的映像をどのようにして確立していったのか。ルビッチ、溝口健二、五所平之助ら 7 人の監督との関わりを軸に、小津安二郎の映画作りの極意を描きだす。

朝日新聞 2023/06/03

2023:5./ 280p
978-4-480-43882-9

¥1,045〔税込〕





棕櫚を燃やす

野々井 透 著

筑摩書房

唯一の心地よい関係を育ててきた父の体内に何かが棲み、余命一年であるという。春野と妹・澄香は毎日をあまさず暮らそうと約束するが…。喪失へと向かう家族を描いた表題作など全2編を収録する。

朝日新聞 2023/06/03

2023:3./ 157p
978-4-480-80511-9

¥1,540〔税込〕



ワグネル プーチンの秘密軍隊

マラート・ガビドゥリン 著

東京堂出版

クレムリンの意を受け、世界各地で軍事工作を行っていると言われていたロシアの民間軍事会社ワグネル。その契約戦闘員として、ウクライナやシリアなどで実戦を潜り抜けてきた元指揮官が綴った手記。

朝日新聞 2023/06/03

2023:1./ 309p
978-4-490-21078-1

¥3,520〔税込〕



資本主義の次に来る世界

ジェイソン・ヒッケル 著

東洋経済新報社

人類や地球に不幸と破滅をもたらさない「成長に依存しない次なるシステム」とは何か？ 経済人類学者が、「アニミズム対二元論」という視点から文明を読み解き次なる社会を描く、かつてない文明論・未来論。

朝日新聞 2023/06/03

2023:5./ 296p,28p
978-4-492-31549-1

¥2,640〔税込〕



スカートと女性の歴史～ファッションと女らしさの二〇世紀の物語～

キンバリー・クリスマン=キャンベル 著

原書房

新しい時代の女らしさを再定義してゆくスカート。デルフォスからボディコン・ドレスまで、20世紀に生まれた10の有名なスタイルを取り上げ、ジェンダー、価値観、アイデンティティーの変遷を読み解く。

朝日新聞 2023/06/03

2023:4./ 301p,11p
978-4-562-07271-2

¥3,850〔税込〕



岡倉天心とインド～「アジアは一つ」が生まれるまで～

外川 昌彦 著

慶應義塾大学出版会

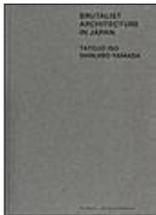
西洋が「美術」の基準とされた植民地のインドで邂逅した、岡倉天心と近代インドの先覚者たち。アジア独自の「美術史」を打ち立てようとした、国境を越えた知的変革の軌跡を、日印の資料を紐解いて描き出す。

朝日新聞 2023/06/03

2023:4./ 8p,224p,71p
978-4-7664-2889-6

¥3,960〔税込〕





日本のブルータリズム建築

磯達雄 著

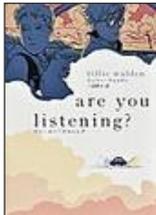
トゥーヴァージンズ

1960～70年代を席卷した「ブルータリズム建築」は、近年、世界中で再評価されている。建て替えによって失われつつある日本のブルータリズム建築について、豊富な写真と解説で紹介し、その魅力に迫る。

朝日新聞 2023/06/03

2023:3./ 143p
978-4-908406-90-4

¥6,600〔税込〕



are you listening?

ティリー・ウォルデン 著

トゥーヴァージンズ

過去から逃れようとする2人の女性が出会い、偶然みつけた迷子猫との奇妙な旅がはじまった。痛みや悲しみを抱えながら、2人は地図にない道をすすんでいく。言葉にならない感情が静かに溢れだすグラフィックノベル。

朝日新聞 2023/06/03

2023:4./ 319p
978-4-910352-34-3

¥2,640〔税込〕



ぼんぼん彩句

宮部 みゆき 著

KADOKAWA

俳句という僅か17音で作られた世界の奥にはどんな物語が潜んでいるのか。孤独な女性のやり場のない想いを描く「枯れ向日葵呼んで振り向く奴がいる」など、繊細で彩り豊かに輝く全12編を収録する。『俳句』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2023/06/03、産経新聞 2023/06/18

2023:4./ 320p
978-4-04-876519-0

¥1,980〔税込〕



国道16号線～「日本」を創った道～(新潮文庫 や-87-1)

柳瀬 博一 著

新潮社

横須賀、横浜、町田、八王子、川越、柏、木更津。首都圏をぐるり、330キロの国内一混雑する「国道16号線」エリアは、日本史上、常に重要な地域であり続けた。「道」と「地形」で読み解く日本論。

朝日新聞 2023/06/03、読売新聞 2023/06/11

2023:5./ 296p
978-4-10-104561-0

¥693〔税込〕



死刑すべからく廃すべし～114人の死刑囚の記録を残した明治の教誨師・田中一雄～

田中 伸尚 著

平凡社

極悪非道な罪を犯した死刑囚の限られた時空間に接し、自己の波瀾に満ちた生を重ね合わせ、国家の手の内に在って微動だにしない死刑制度に抗う…。明治の教誨師で浄土真宗の僧侶、田中一雄が残した死刑囚の記録を読み解く。

朝日新聞 2023/06/03、毎日新聞 2023/06/03、東京・中日新聞 2023/06/18

2023:4./ 222p
978-4-582-82496-4

¥2,860〔税込〕





鉄のカーテンをこじあけろ～NATO 拡大に奔走した米・ポーランドのスパイたち～

ジョン・ボンフレット 著

朝日新聞出版

米・ポーランド同盟構築、NATO 加盟、体制転換に奔走したスパイたちの活躍と暗転...いつから同盟は画策されたのか。ワシントン・ポスト記者が、機密解除文書の読解や要人へのインタビューなどから歴史の舞台裏を描き出す。

朝日新聞 2023/06/03、毎日新聞 2023/06/03、日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 343p,21p
978-4-02-251887-3

¥3,520〔税込〕



幕府海軍～ペリー来航から五稜郭まで～(中公新書 2750)

金澤裕之 著

中央公論新社

長崎海軍伝習、咸臨丸の太平洋横断、幕長戦争、鳥羽・伏見の戦い、榎本武揚の箱館戦争...。1855年に誕生し、江戸幕府の崩壊とともに13年という短い期間で歴史的使命を終えた幕府海軍の物語を、歴史と軍事の両面から描く。

朝日新聞 2023/06/03、毎日新聞 2023/06/17

2023:4./ 5p,201p
978-4-12-102750-4

¥902〔税込〕



宮本常一～歴史は庶民がつくる～(講談社現代新書 現代新書 100 2706)

畑中 章宏 著

講談社

「大きな歴史」から零れ落ちる「庶民の歴史」。民俗学者・宮本常一が日本列島のすみずみまで歩き、聞き集めた小さな歴史の束から、世間や民主主義、多様な価値、「日本」という国のかたちを問い直し、彼の思想を解説する。

朝日新聞 2023/06/10

2023:5./ 110p
978-4-06-531783-9

¥880〔税込〕



星に仄めかされて(講談社文庫 た 74-6)

多和田 葉子 著

講談社

留学中に「母国の島国」が消滅してしまった女性、Hiruko が作り出した独自の言語<パンスカ>は、見知らぬ人々を結びつけ...。「地球にちりばめられて」に続く、国境を越えたサーガ第2部。

朝日新聞 2023/06/10

2023:5./ 383p
978-4-06-531800-3

¥858〔税込〕



2035年の中国～習近平路線は生き残るか～(新潮新書 992)

宮本 雄二 著

新潮社

中国共産党総書記として異例の3期目に突入した習近平。建国百年を迎える2049年への中点とされる2035年に、彼は82歳。中国はその時どうなっているのか？ 習近平を最もよく知る元大使が今後の行方を占う。

朝日新聞 2023/06/10

2023:4./ 239p
978-4-10-610992-8

¥902〔税込〕





朝のあかり～石垣りんエッセイ集～(中公文庫 い139-1)

石垣りん 著
中央公論新社

自分の住むところには自分で表札を出すにかぎる。銀行の事務員として働き、生家の家計を支えながら詩作をつづけた著者は、50歳で川辺の1DKを手に入れ…。ひとりを味わう詩人の暮らしぶりが息づくエッセイ集。

朝日新聞 2023/06/10

2023:2./ 314p
978-4-12-207318-0
¥990〔税込〕



日本的雇用システムをつくる 1945-1995～オーラルヒストリーによる接近～

梅崎 修/南雲 智映/島西 智輝 著
東京大学出版会

戦後からはじまる日本的雇用システム。その構築過程について、制度構築の当事者たち(経営者、人事担当者、労働組合、労働者、官僚など)の意図と行為の連鎖に焦点を当てながら、オーラルヒストリーの方法論を用いて分析する。

朝日新聞 2023/06/10

2023:4./ 8p,547p
978-4-13-046138-2
¥10,780〔税込〕



サイケデリック・マウンテン～National Comprehensive Security Committee～

榎本 憲男 著
早川書房

ある国際的投資家が刺殺された。容疑者は、マインドコントロールを疑われる新興宗教の元信者。国家総合安全保障委員会(NCSC)が調査を開始。新興宗教本部の近くに住む心理学者のもとに向かう。事件に隠された謀略とは…。

朝日新聞 2023/06/10

2023:5./ 527p
978-4-15-210243-0
¥2,530〔税込〕



柄谷行人『力と交換様式』を読む(文春新書 1410)

柄谷行人ほか 著
文藝春秋

交換様式がもたらす力を軸に資本主義の構造に迫った柄谷行人の思想体系は、ついに「力と交換様式」として完成をみた。この書はいかにして着想され、書かれたのか。柄谷行人のインタビューや講演、佐藤優らの書評も収録する。

朝日新聞 2023/06/10

2023:5./ 285p
978-4-16-661410-3
¥1,100〔税込〕



中国共産党、その百年(筑摩選書 0214)

石川 禎浩 著
筑摩書房

結党100周年を迎える中国共産党は、いかにして超巨大政権党となったのか。わずか30年足らずで中華人民共和国を建国し、70年以上にわたって国を統治してきた中国共産党の歩みを世界史的な展開を視野に収めつつ描く。

朝日新聞 2023/06/10

2021:6./ 376p
978-4-480-01733-8
¥1,980〔税込〕





マッカラーズ短篇集(ちくま文庫 ま 55-1)

カーソン・マッカラーズ 著
筑摩書房

奇妙な片思いが連鎖する「悲しき酒場の唄」、思春期の少女が必死に失うまいとする親密さと愛の形を細やかに描いた「そういうことなら」など、異質な存在とクィアな欲望が響き合う触発の物語 8 編を収録。

朝日新聞 2023/06/10

2023:5./ 265p
978-4-480-43871-3

¥1,100 [税込]



独裁者の料理人～厨房から覗いた政権の舞台裏と食卓～

ヴィトルト・シャブウォフスキ 著
白水社

サダム・フセインは何万人ものクルド人をガスで処刑するよう命じた後、何を食べたのか? ポル・ポトやカストロが食べていたものは? 20 世紀の 5 人の独裁者に仕えた料理人たちの悲喜こもごもの人生を描く。レシピ付。

朝日新聞 2023/06/10

2023:4./ 334p
978-4-560-09482-2

¥3,300 [税込]



ワンルームから宇宙をのぞく

久保 勇貴 著
太田出版

宇宙のなかに、日常がある。日常のなかに、宇宙がある。笑っちゃうくらい壮大な宇宙と手のひらサイズの日常をダイナミックに行き来する、新感覚の宇宙工学エッセイ。東大発オンラインメディア『UmeeT』等掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/06/10

2023:3./ 221p
978-4-7783-1856-7

¥1,980 [税込]



6歳と3歳のおまけシール騒動～贈与と交換の子ども経済学～

麻生 武 著
新曜社

昭和の末期、大流行したチョコ菓子のおまけシール。このブームに巻き込まれた就学前の 2 人の息子と仲間たちの克明な日誌的観察記録をもとに、子ども文化、子ども経済、仲間関係の発達を社会歴史的な文脈の中で丁寧に描き出す。

朝日新聞 2023/06/10

2023:3./ 16p,284p
978-4-7885-1800-1

¥3,960 [税込]



マチスのみかた

猪熊弦一郎 著
作品社

戦時下フランスに遊学し、マチスに直接教えを受けた洋画家による、マチスに関する評論/エッセイを集成。最初期の油絵から晩年の切り絵まで、100 点超のマチスの作品も収録する。

朝日新聞 2023/06/10

2023:4./ 207p
978-4-86182-970-3

¥2,970 [税込]





心 水の如く～那覇市政十六年の回想～

親泊 康晴 著
沖縄タイムス社

「心如水」を座右の銘に、水のように無心で那覇市づくりにあたってきた著者の、那覇市長初当選の日から退任まで、市民に支えられた4期16年の日々を語った回顧録。

朝日新聞 2023/06/10

2002:1./ 321p
978-4-87127-300-8

¥2,860〔税込〕



仁義ある戦い～アフガン用水路建設まかないボランティア日記～

杉山 大二朗 著
忘羊社

就活に挫折し放浪したアジアの町で知ったアフガニスタンの中村哲医師の存在。50万人の命をつなぐ大工事の裏方として、肉体労働から料理番まで、悪戦苦闘した泣き笑いの6年間を、軽妙なマンガとエッセイで綴る。

朝日新聞 2023/06/10

2023:2./ 183p
978-4-907902-32-2

¥1,870〔税込〕



口訳古事記

町田 康 著
講談社

イザナキとイザナミの国生み、アマテラスの「天の岩屋」ひきこもり、何度も殺されては甦ったオオクニヌシの国作り…。奔放なる愛と野望、裏切りと謀略にみちた日本最古のドラマの画期的な大阪弁訳。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/06/10、東京・中日新聞 2023/06/18

2023:4./ 474p
978-4-06-531204-9

¥2,640〔税込〕



深い穴に落ちてしまった(創元推理文庫 Fレ 3-1)

イバン・レピラ 著
東京創元社

名も年もわからない兄弟が穴に落ちて、出られなくなりました。なぜ章番号が素数のみなのか。文章に織り交ぜられた不思議な暗号が示すものとは。綿密に構成され、さまざまな寓意に彩られた物語。

朝日新聞 2023/06/10、読売新聞 2023/06/25

2023:4./ 155p
978-4-488-57503-8

¥770〔税込〕



日米地位協定の現場に行く～「基地のある街」の現実～(岩波新書 新赤版 1928)

山本 章子／宮城 裕也 著
岩波書店

なぜ米軍による犯罪・事件を裁くことが難しいのか。なぜ騒音被害や環境汚染を止められないのか。「国の専管事項」である安全保障が日常を脅かしている実態と原因に迫る。

朝日新聞 2023/06/17

2022:5./ 13p,244p,6p
978-4-00-431928-3

¥990〔税込〕





動物がくれる力〜教育、福祉、そして人生〜(岩波新書 新赤版 1970)

大塚 敦子 著
岩波書店

犬への読み聞かせは子どもを読書へ誘い、生きづらさを抱える子どもは傷ついた動物をケアする中で育つ。病気のある人や高齢者も、犬や猫と共に心豊かな日々を過ごす。人と動物のポジティブなかかわりとそこにある可能性を綴る。

朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 10p,267p,7p
978-4-00-431970-2

¥1,166 [税込]



赤い部屋異聞(角川文庫 の6-5)

法月 綸太郎 著
KADOKAWA

日常に退屈した者が集い、珍奇な話や猟奇譚を披露する「赤い部屋」。新会員の T 氏は、これまで 99 人の命を奪った<殺人遊戯>について語り…。表題作など東西の傑作を本格ミステリに染め上げる全 9 篇のオマージュ連作短編集。

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 251p
978-4-04-113321-7

¥836 [税込]



ヒロインは、なぜ殺されるのか 新版

田嶋 陽子 著
KADOKAWA

自立して自らの人生を生きようとした魅力的なヒロインたちは、映画のなかで、なぜみんな死んでしまうのか? 消費されるヒロインたちをフェミニスト目線であざやかに読み解く。合わせて見たい映画作品も紹介。

朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 381p
978-4-04-606094-5

¥2,420 [税込]



かさねと昴 (1) (モーニング KC)

山田 金鉄 著
講談社

おもちゃの企画開発会社でグラフィックデザイナーをしている柴田かさね(しばたかさね)は、あることで悩んでいた。悩みの発端は、思いがけない事故で同僚の榎田昴(えのきだすばる)のお尻を触ってしまったこと…!

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 192p
978-4-06-531645-0

¥781 [税込]



恐るべき太陽(集英社文庫 ヒ 8-5)

ミシェル・ビュッシ 著
集英社

画家ゴーギャンが愛した南太平洋仏領ポリネシアのヒバオア島に、人気ベストセラー作家と、彼の熱烈な女性ファン 5 人が<創作アトリエ>のために集まった。だが作家は失踪、彼女らは次々に死体となって発見され…。

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 558p
978-4-08-760784-0

¥1,815 [税込]





サン＝フォリアン教会の首吊り男 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 16-4)

ジョルジュ・シムノン 著
早川書房

駅の待合室で不審な男を見かけたメグレは、男の鞆を自分のものとすり替えた。すると男は拳銃で自殺してしまう。奇妙な事件の捜査に当たるメグレは、事件の陰にちらつく異様な首吊り男の絵の真相へと近づいていくが...

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 223p
978-4-15-070954-9

¥1,276 [税込]



コンサルティング会社完全サバイバルマニュアル

メン獄 著
文藝春秋

答えがあることを自分で考えない、議事録は会議前に作れる...。外資系大手コンサルティング会社を12年間生き延びたコンサルタントが、自身の体験をもとにした“最速仕事術”を伝授する。

朝日新聞 2023/06/17

2023:3./ 303p
978-4-16-391676-7

¥1,980 [税込]



女ことばってなんなのかしら?〜「性別の美学」の日本語〜(河出新書 063)

平野 卿子 著
河出書房新社

日本語の「女ことば」、それは日本人に根づく「性別の美学」の申し子である。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 213p
978-4-309-63162-2

¥946 [税込]



ハリウッドのルル

ルイズ・ブルックス 著
国書刊行会

ハリウッド黄金時代のミューズとして、今も多くの人々に愛されている伝説の女優ルイズ・ブルックス。主演映画の舞台裏、ハリウッド・スターや監督との交友などを綴った1982年発行の自伝的エッセイを邦訳。

朝日新聞 2023/06/17

2023:3./ 328p,9p
978-4-336-07478-2

¥3,520 [税込]



ポリネーター

梅津庸一 著
美術出版社

国内外の現代アートシーンで注目を集めるアーティスト、梅津庸一の作品集。初期作から代表作までの作品のほか、新藤淳による論考、梅津のインタビューおよび書き下ろしエッセイなどを収録する。しおり2枚付き。

朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 184p,7p
978-4-568-10561-2

¥6,600 [税込]





いかにして民主主義は失われていくのか～新自由主義の見えざる攻撃～

ウェンディ・ブラウン、中井 亜佐子 著

みすず書房

いまや新自由主義は、民主主義を内側から破壊している。あらゆる人間活動を経済の言葉に置き換え、民主主義を支える理念、制度、文化を解体する過程を解き明かす。

朝日新聞 2023/06/17

2017:5./ 269p,57p
978-4-622-08569-0

¥4,620〔税込〕



クジラの歌を聴け～動物が生命をつなぐ驚異のしくみ～

田島 木綿子 著

山と溪谷社

ラブソングを歌うザトウクジラ、あえて逆子で産むイルカ、一瞬で交尾が終わるヤギ...。全員、生き残るための工夫がすご過ぎる! 海獣学者が、動物たちのすばらしき繁殖戦略を解きあかす。

朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 267p
978-4-635-06329-6

¥1,760〔税込〕



世界の基地問題と沖縄

川名 晋史 編

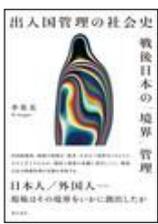
明石書店

世界で起きている基地問題はいかなるもので、沖縄の基地問題とどのように違うのか。米軍基地を受け入れる 13 の国と地域を取り上げ、基地の歴史、基地問題、地位協定、沖縄への含意という 4 つのテーマを定め、比較分析する。

朝日新聞 2023/06/17

2022:7./ 254p
978-4-7503-5412-5

¥2,750〔税込〕



出入国管理の社会史～戦後日本の「境界」管理～

李 英美 著

明石書店

第二次世界大戦後に形成された出入国管理政策が、とりわけ地域社会においてどのようなかたちで執行され、国民・国籍・人の移動をめぐる「境界」を立ち上げてきたのかを考察する。

朝日新聞 2023/06/17

2023:5./ 284p
978-4-7503-5559-7

¥4,400〔税込〕



杉浦康平と写植の時代～光学技術と日本語のデザイン～

阿部卓也 著

慶應義塾大学出版会

戦後日本のグラフィックデザインを牽引したデザイナー・杉浦康平は、写植という新たな技術といかに向き合い、日本語のデザインといかに格闘したのか。彼が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた影響を明らかにする。

朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 481p
978-4-7664-2880-3

¥4,400〔税込〕





羊と日本人～波乱に満ちたもう一つの近現代史～

山本 佳典 著
彩流社

文明開化以降の日本には、いつも羊がいた。在野の研究者が忘れられた日本の綿羊史を独自の視点でとらえ、膨大で緻密な調査と関係者への聞き取りを行い、たゆまぬ努力を続けた羊をめぐる人々の生き様を浮かび上がらせる。

朝日新聞 2023/06/17

2023:3./ 401p
978-4-7791-2863-9

¥3,850〔税込〕



基地と財政～沖縄に基地を押しつける「醜い」財政政策～

川瀬 光義 著
自治体研究社

日本政府が推進してきた在日米軍の辺野古新基地建設。沖縄県や名護市の「合意」を獲得するために講じられてきた国の財政政策の正当性や自治体財政に及ぼす影響等を分析し、その「醜い」実態を明らかにする。

朝日新聞 2023/06/17

2018:7./ 133p
978-4-88037-682-0

¥1,760〔税込〕



言語の本質～ことばはどう生まれ、進化したか～(中公新書 2756)

今井むつみ／秋田喜美 著
中央公論新社

なぜヒトはことばを持つのか？ 子どもはいかにしてことばを覚えるのか？ オノマトペとアブダクション(仮説形成)推論という人間特有の学ぶ力を鍵に、言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る。

朝日新聞 2023/06/17、産経新聞 2023/06/18、読売新聞 2023/06/18

2023:5./ 9p,277p
978-4-12-102756-6

¥1,056〔税込〕



ドアのむこうの国へのパスポート

トンケ・ドラフト／リンデルト・クロムハウト／リンデ・ファース 著
岩波書店

作家の家には、特別なパスポートを持った人しか入れないドアがある。子どもたちは、パスポートやビザの申請といった課題にむきあううちに、仲間や自分をより深く知っていき…。子どもたちへのエールに満ちた物語。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 206p
978-4-00-116046-8

¥1,980〔税込〕



牧野富太郎の植物愛(朝日新書 904)

大場秀章 著
朝日新聞出版

植物学者・牧野富太郎は生涯を懸けて、分類学と呼ばれる、多様性を可視化させる研究を進めた。多種多様な植物が地球上に生息することを知らしめ、物言わぬ命の豊饒さを書物に残した人生を、植物分類学の第一人者が読み解く。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 198p
978-4-02-295214-1

¥891〔税込〕





君は医者になれない〜膠原病内科医・漆原光莉と血嫌い医学生〜(メディアワークス文庫 こ7-2)

午鳥志季 著

KADOKAWA

血が怖いという致命的のハンデを抱える医学生・戸島光一郎。落第にリーチが掛かった彼は、救済措置として人手不足のアレルギー・膠原病内科の手伝いを命じられ…。現役医師が描く感動の医療ドラマ。

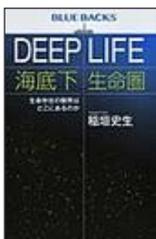
朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 267p
978-4-04-914943-2

¥737〔税込〕



9 784049 149432



DEEP LIFE 海底下生命圏〜生命存在の限界はどこにあるのか〜(ブルーバックス B-2231)

稲垣 史生 著

講談社

生命は存在しないとされていた海底地下深部の世界。しかしそこからは膨大な数の微生物が発見された。極限環境で生きる微生物から生物の起源・進化に迫る。海洋科学掘削調査の最前線の研究も紹介する。

朝日新聞 2023/06/24

2023:5./ 270p
978-4-06-531933-8

¥1,210〔税込〕



9 784065 319338



図解はじめての絵画(小学館の図鑑 NEO アート)

小学館

世界の名画約 360 点を取り上げ「何が描かれているか」「どのように表現されているか」などのテーマで、絵画の見方をわかりやすく解説する。図解イラストや部分図、さらに絵の理解が深まる情報等も掲載。ワイドページあり。

朝日新聞 2023/06/24

2023:2./ 279p
978-4-09-217266-1

¥2,970〔税込〕



9 784092 172661



リーガルーキーズ!〜半熟法律家の事件簿〜(新潮文庫 お-114-1)

織守 きょうや 著

新潮社

それぞれの想いを胸に秘め、法律のプロを目指す司法修習生たち。彼らと過ごす、ささやかな謎に彩られた日々が、教育にあたる大人も変えていく。元弁護士 of 著者による爽やかなリーガル青春ミステリ。

朝日新聞 2023/06/24

2023:6./ 429p
978-4-10-104581-8

¥825〔税込〕



9 784101 045818



女子マンガに答えがある〜「らしさ」をはみ出すヒロインたち〜

トミヤマユキコ 著

中央公論新社

「はいからさんが通る」「YAWARA!」「のだめカンタービレ」…。不朽の名作から今が旬の話題作まで、「らしさ」の檻を解体するヒロイン約 100 名を縦横無尽に語り尽くす。マンガ作家山本美希との対談も収録。

朝日新聞 2023/06/24

2023:5./ 230p
978-4-12-005655-0

¥1,870〔税込〕



9 784120 056550



リアリティ+〜バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦〜<上>

デイヴィッド・J・チャーマーズ 著

NHK出版

私たちがいるこの世界は本物ののだろうか？それが「確か」だとなぜわかるのか？シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 413p
978-4-14-081936-4

¥2,640〔税込〕



リアリティ+〜バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦〜<下>

デイヴィッド・J・チャーマーズ 著

NHK出版

バーチャル世界の中の人生に意味はあるのか？ARで拡張された心も「心」といえるのか？シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 333p
978-4-14-081937-1

¥2,530〔税込〕



馴染み知らずの物語〜NFT電子書籍付〜(ハヤカワ新書)

滝沢 カレン 著

早川書房

カフカの『変身』や与謝野晶子の『みだれ髪』など、古今東西の名作のタイトルをヒントに滝沢カレンさんが新しい物語をつむぎます。オリジナルを知っている人も知らない人も楽しめる一冊。

朝日新聞 2023/06/24

2023:6./ 224p
978-4-15-345003-5

¥1,496〔税込〕



アメリカ知識人の共産党〜理念の国の自画像〜

中山 俊宏 著

勁草書房

第二次世界大戦以前、共産主義はアメリカでも多くの知識人を魅了したが、戦後は「異物」として排除された。反共リベラル、ニューレフト、新保守主義者の、自由社会の根幹を問う論争を解き明かし、理念の国の深層をのぞく。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 10p,306p,41p
978-4-326-30328-1

¥5,170〔税込〕



宇宙・0・無限大(光文社新書 1261)

谷口義明 著

光文社

人間の想像が及ばないほど広大な宇宙は、無限の大きさを持つのか。また、この宇宙には0となる物理量は存在するのか。宇宙に関する素朴で深遠な問いに、天文学者が果敢に挑む。

朝日新聞 2023/06/24

2023:6./ 194p
978-4-334-04668-2

¥902〔税込〕





ぼくの大林宣彦クロニクル

森泉岳土 著
光文社

2020年4月に逝去した巨匠・大林信彦監督の娘婿は、マンガ家・森泉岳土。偉大な映画作家との日々を綴り、好奇心旺盛でチャーミングな義父の姿を描き出す。『小説宝石』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 248p
978-4-334-95371-3

¥1,980〔税込〕



9 78 4 334 95371 3



アンカット・ファンク〜人種とフェミニズムをめぐる対話〜

ベル・フックス／スチュアート・ホール 著
人文書院

フェミニズムとカルチュラル・スタディーズ、それぞれの隆盛を担った、ふたりの思想家が1996年のロンドンで対話した。20世紀後半の社会状況を踏まえた議論と、それらに自らの人生を重ねた繊細な語りを取める。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 251p
978-4-409-03122-3

¥2,970〔税込〕



9 78 4 409 03122 3



増えるものたちの進化生物学(ちくまプリマー新書 423)

市橋 伯一 著
筑摩書房

なぜ生きていると悩みが多いのか。生命と非生命をわける「増えて遺伝する能力」は生物を進化させ、人間に自由と生きる喜びを与えた一方で、不安や迷いを植え付けた。生の悩みから生命の起源と未来を見つめる知的問答の書。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 184p
978-4-480-68446-2

¥880〔税込〕



9 78 4 480 68446 2



一八世紀の秘密外交史〜ロシア専制の起源〜

石井 知章／福本 勝清 編
カール・マルクス／カール・アウグスト・ウィットフォーゲル 著
白水社

クリミア戦争下に構想され、ロシアの歴史的特異性と発展の可能性を述べ、マルクス主義者によって忌避された幻の論考。マルクスによるロシア通史「近代ロシアの根源について」「ロシアの海洋進出と文明化の意味」も併録。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 257p,6p
978-4-560-09494-5

¥2,750〔税込〕



9 78 4 560 09494 5



転職の魔王様(PHP 文芸文庫 ぬ 1-1)

額賀 滯 著
PHP研究所

大卒で入社した大手広告代理店でパワハラに遭い、3年たらずに退職してしまった未谷千晴。叔母が経営する人材紹介会社を活用しながら転職活動をする、「転職の魔王様」という異名を持つ凄腕キャリアアドバイザーに出会い...

朝日新聞 2023/06/24

2023:6./ 315p
978-4-569-90312-5

¥924〔税込〕



9 78 4 569 90312 5



牧野富太郎～雑草という草はない～(別冊太陽 日本のこころ 306)

別冊太陽編集部 編
平凡社

小学校中退でありながら独学を続け、多数の新種を発見し命名した「日本植物学の父」牧野富太郎。植物に愛を捧げた波乱万丈のその生涯を、美しい植物画や標本とともにビジュアルでたどる。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 151p
978-4-582-92306-3

¥2,530〔税込〕



われらの牧野富太郎!

毎日新聞出版 編
毎日新聞出版

植物学者・牧野富太郎の魅力を多角的に紹介するビジュアルブック。高知県立牧野植物園や関係者を独自の視点で取材し、愛され続ける植物学者の生き様と型破りな魅力を語り尽くす。折り込みページあり。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 174p
978-4-620-32765-5

¥2,420〔税込〕



とってもすてきなうちです

なかがわちひろ、高橋和枝 著
アリス館

じまんのわがやへようこそ。ちょっとこまったこともあるけれど、ここがわたしのすてきなうちです…。あり、ちょうちょ、くも、つばめ、ねこが、自分たちの住む家を紹介します。

朝日新聞 2023/06/24

2023:4./ 32p
978-4-7520-1060-9

¥1,650〔税込〕



理念の国がきしむとき～オバマ・トランプ・バイデンとアメリカ～

中山 俊宏 著
千倉書房

巨大な理念の国と最前線で切り結んだ、気鋭のアメリカ政治学者・中山俊宏。オバマからバイデンまで、3人の大統領の下で激しく変貌するアメリカと対峙し、2022年に急逝した彼の思索をまとめた遺稿集。未発表論稿も収録。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 4p,430p
978-4-8051-1285-4

¥3,960〔税込〕



シッカとマルガレータ～戦争の国からきたきょうだい～

きただいえりこ 編
ウルフ・スタルク 著

子どもの未来社

家族と離れて戦争の国から逃れてきたシッカと、平和な国にクラスマルガレータ。ふたりは出会い、反発し合いながらも互いの違いを理解し友情を育んでいき…。スウェーデンの児童文学作家が子どもたちの集団疎開を描いた絵本。

朝日新聞 2023/06/24

2023:5./ 42p
978-4-86412-234-4

¥1,870〔税込〕





牧野富太郎の植物図鑑

三オブックス

欧米の植物学からの刺激、「牧野式」植物図の確立、採集のために全国を飛び回る日々、植物と心中した晩年…。日本の植物分類学の父・牧野富太郎の生涯を、美しくて精密な植物図でたどる。貴重な資料も多数掲載。

朝日新聞 2023/06/24

2023:3./ 175p
978-4-86673-340-1

¥1,980〔税込〕



ピッツァ職人

井川 直子 著

ミシマ社

高校へ行かず 10代で単身渡伊。差別や逆境にも負けず修業し、ピッツァ職人世界選手権の世界大会で3位となった中村拓巳。人生をかけてピッツァを焼きつづけるひたむきな姿に、12年越しで迫った圧巻のノンフィクション。

朝日新聞 2023/06/24

2023:5./ 269p
978-4-909394-87-3

¥2,200〔税込〕



俳句ミーツ短歌～読み方・楽しみ方を案内する18章～

堀田 季何 著

笠間書院

俳句と短歌をもっと自由に楽しめるよう、俳句と短歌の様々な側面を紹介。「季語を入れて字数を守ればいい?」「内容は実際の経験でないとだめ?」といった疑問にも答える。俳誌『楽園』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/06/25

2023:5./ 273p
978-4-305-70985-1

¥2,090〔税込〕



5A73

詠坂雄二 著

光文社

地下鉄に轢かれ、男が死亡した。身体には「罪」の文字が残されている。「罪」の字が書かれた不審死はこれで4件目。刑事たちは事件の手掛かりを探り、文字の解読にも腐心するが、その最中に5人目の死者が出て…。

東京・中日新聞 2023/06/03

2022:7./ 348p
978-4-334-91474-5

¥2,200〔税込〕



ソングの哲学

ボブ・ディラン 著

岩波書店

ディランが多種多様な66の曲を選び、ポピュラー音楽の奥義を明かす。詞の世界に導く散文、精緻な楽曲分析、150点余の図版が織りなす批評の到達点。「自伝」以来18年ぶり、ノーベル文学賞受賞後初の著書。

東京・中日新聞 2023/06/04

2023:4./ 9p,334p
978-4-00-023746-8

¥4,180〔税込〕





物語チベットの歴史～天空の仏教国の1400年～(中公新書 2748)

石濱裕美子 著
中央公論新社

古代チベット帝国と諸宗派の成立、ダライ・ラマ政権の誕生、ダライ・ラマ14世によるチベット問題の国際化…。1400年の歴史を辿り、世界で尊敬の念を集めるチベット仏教と文化の未来を考える。

東京・中日新聞 2023/06/04

2023:4./ 264p
978-4-12-102748-1

¥990〔税込〕



WOKE CAPITALISM～「意識高い系」資本主義が民主主義を減ぼす～

カール・ローズ 著
東洋経済新報社

「なんちゃって企業倫理」が民主主義を減ぼす。「WOKE」という切り口で、企業が社会問題に取り組むことそのものが、本音レベルで利益に直結する現代資本主義の構造と裏側を読み解く。

東京・中日新聞 2023/06/04

2023:4./ 310p,48p
978-4-492-44474-0

¥2,640〔税込〕



夜の銀座史～明治・大正・昭和を生きた女給たち～

小関 孝子 著
ミネルヴァ書房

女給たちはどのような理由で夜の世界で働くことを選んだのか。何を考え、どのような気持ちで働いていたのか。明治中期から1960年頃までの史料を時系列に並べ、それらの言説から時代ごとの微妙な変化を読み取る。

東京・中日新聞 2023/06/04

2023:3./ 13p,250p,5p
978-4-623-09560-5

¥2,640〔税込〕



サーカスの子

稲泉 連 著
講談社

大天幕の中に入ると、そこは夢の世界。舞台上で繰り広げられる華やかなショー、旅を日常として生きる芸人達。子供時代をサーカスで過ごした著者が、失われた<サーカスの時代>を描く。『群像』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

東京・中日新聞 2023/06/11

2023:4./ 275p
978-4-06-530966-7

¥2,090〔税込〕



過去を売る男(エクス・リブリス)

ジョゼ・エドゥアルド・アグアルーザ 著
白水社

長年にわたる激しい内戦が終わったアンゴラ。フェリックスは、新興の富裕層に新しい家系図と「過去」を作成して生計を立てている。ある日、身元不詳の外国人が来て…。戦争に踏みにじられた人生と奪われた記憶を鮮烈に綴る。

東京・中日新聞 2023/06/11

2023:5./ 203p
978-4-560-09082-4

¥2,750〔税込〕





ニッポン人のブルース受容史(ele-king books)

濱田廣也（ブルース&ソウル・レコーズ） 編
日暮泰文／高地明 著
P ヴァイン

1960年代から70年代にかけて、まだアメリカは遠く、レコードを一枚手に入れるのにも時間と手間をかけなければならなかった頃。まだ情報も少ない手探り状態の中、ブルースに取り憑かれた者たちは、この底知れぬ音楽とどう向き合ってきたのか。

東京・中日新聞 2023/06/11

2023:3./ 368p
978-4-910511-33-7

¥4,620〔税込〕



脳の間(新潮新書 983)

中野 信子 著
新潮社

ともすれば無意識の情動に流され、あいまいで不安な状態を嫌う脳の仕組みは、深淵にして実にやっかい。自身の半生と脳科学の知見を通して、現代社会の病理と人間の脳に備わる深い闇を鮮やかに解き明かす。

東京・中日新聞 2023/06/17

2023:2./ 267p
978-4-10-610983-6

¥946〔税込〕



蒼い炎<4> 無限編

羽生結弦 著
扶桑社

北京五輪の氷に刻んだ4回転アクセル。プロアスリートへ転向し、前人未踏の地を切り拓き…。羽生結弦が2020年の全日本選手権から、2023年のアイスショー開催までを振り返る。写真多数収録。自叙伝・第四章。

東京・中日新聞 2023/06/17

2023:5./ 291p
978-4-594-09456-0

¥1,870〔税込〕



名場面でわかる刺さる小説の技術

三宅香帆 著
中央公論新社

名場面があれば小説は勝てる！名場面の理論について述べるとともに、人気作家25人が書いた名場面を解説し、「読む技術」と「書く技術」を指南する。『婦人公論.jp』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/06/18

2023:5./ 260p
978-4-12-005657-4

¥1,870〔税込〕



亜宗教〜オカルト、スピリチュアル、疑似科学から陰謀論まで〜(インターナショナル新書 121)

中村 圭志 著
集英社インターナショナル

亜宗教とは、近現代に生まれた、非科学的で宗教めいた信念や言説のこと。宗教研究者が19世紀から現在までの西洋・日本の亜宗教の数々をたどり、人間の非合理的な“妄想力”の系譜を明らかにする。

東京・中日新聞 2023/06/18

2023:4./ 300p
978-4-7976-8121-5

¥1,056〔税込〕





運び屋円十郎

三本 雅彦 著
文藝春秋

約束の物は何かあっても届け切る、やり手の<運び屋>円十郎。江戸の街を駆け回る彼は、ある夜襲撃を受けるが、それは大きな災厄の始まりに過ぎなかった…。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

東京・中日新聞 2023/06/24

2023:6./ 291p
978-4-16-391705-4

¥1,980〔税込〕



ニッポン 美食立国論～「フーディー」が日本を再生する!～

柏原 光太郎 著
講談社

国内外の稀代の食いしん坊「フーディー」達を核に、点から面のツーリズムへの発想転換で、日本を輝かせる手法とは。富裕層旅行が注目される今、インバウンド需要も見据えた“シン観光立国論”を提言する。名店リスト付き。

東京・中日新聞 2023/06/25

2023:5./ 271p
978-4-06-532341-0

¥1,870〔税込〕



賢人と奴隷とバカ

酒井 隆史 著
亜紀書房

資本主義×知識人が一体となって管理・支配しようとする現状を問い、近代社会の土台に存在する、無名の人びとが蓄積してきた知や技術に光を当てる。2012～2022年に書いたエッセイと書きおろしを収録。

東京・中日新聞 2023/06/25

2023:4./ 447p
978-4-7505-1787-2

¥2,970〔税込〕



女たちが語る歴史<上> 農漁村女性の記録

川田 文子 著
戦争と性編集室

1970年代に全国の農漁村を訪ね歩いて聞いた、明治生まれの女性たちの記録。上は、北海道・東北・上信越の「子産みの話」「麻と刺子」「藁仕事」「秩父の機織り唄」などを収録する。

東京・中日新聞 2023/06/25

2023:3./ 368p
978-4-902432-27-5

¥2,420〔税込〕



女たちが語る歴史<下> うない<女性>の記録

川田 文子 著
戦争と性編集室

1970年代に全国の農漁村を訪ね歩いて聞いた、明治生まれの女性たちの記録。下は、沖縄の「ヤマトンチューに破壊された毛遊びー」「石垣島の糸満女」「囲いのない廓」「もう一つの沖縄戦」などを収録する。

東京・中日新聞 2023/06/25

2023:3./ 279p
978-4-902432-28-2

¥2,420〔税込〕





母の味、だいたい伝授

阿川 佐和子 著

新潮社

結婚もした、両親も看取った。残るは<あの欲望>だけだ。コロナ禍の中でも変わらぬ食欲と好奇心から生まれた風味絶佳なエッセイ集。『波』連載、『週刊文春』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/06/04

2023:2./ 219p
978-4-10-465523-6

¥1,540〔税込〕



源氏物語の世界(新潮選書)

中村 真一郎 著

新潮社

千年の昔に書かれた「源氏物語」。宮廷ゴシップ、恋愛模様、権力闘争-ほの暗い御簾の陰に潜む人間ドラマと、失意と孤独を抱えた作者・紫式部その人の内奥に光を当てて。同時期の傑作も併せ論じ、古典を読む喜びを語り尽くす。

読売新聞 2023/06/04

2023:5./ 221p
978-4-10-603898-3

¥1,760〔税込〕



「私のはなし部落のはなし」の話

満若勇咲 著

中央公論新社

日本に残る「部落差別」を丸ごと見つめ、多くの観客を集めたドキュメンタリー映画「私のはなし部落のはなし」監督による初エッセイ。大学時代に作った初作品「にくのひと」封印から今作公開までの12年の歩みを綴る。

読売新聞 2023/06/04

2023:2./ 238p
978-4-12-005632-1

¥1,980〔税込〕



ポストイクメンの男性育児～妊娠初期から始まる育業のススメ～(中公新書ラクレ 791)

平野翔大 著

中央公論新社

「取るだけ育休」などで母親を困らせるだけでなく、父親自身を「産後うつ」に追い込むなどの問題を引き起こしている「育休推進」。孤立する父親と向き合ってきた医師が、男性育児・育休の問題点、解決すべき課題を提言する。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 269p
978-4-12-150791-4

¥1,034〔税込〕



近代数寄者の茶の湯(中公文庫 < 18-4)

熊倉功夫 著

中央公論新社

新時代の富豪たちの茶道具への収集熱と茶会により、衰退した茶道が復活する。高橋箒庵(義雄)、益田孝、原三溪、根津嘉一郎、井上馨、藤田伝三郎らの足跡を追い、豪放にして耽美、痛快にして洒脱な趣向とその精神を描く。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 260p
978-4-12-207353-1

¥946〔税込〕





文庫で読む 100年の文学(中公文庫 ぬ 3-1)

沼野充義／松永美穂／阿部公彦／読売新聞文化部 編
中央公論新社

21世紀に読み継いでいきたい文学とは。第一次世界大戦～現代の100年の海外文学60冊、日本文学40冊をセレクト。現代文学の最前線に立つ作家ら53人がジャンルごとに解説する。『読売新聞』リレー連載をもとに文庫化。

読売新聞 2023/06/04

2023:5./ 285p
978-4-12-207366-1

¥946〔税込〕



アンビシャス～北海道にボールパークを創った男たち～

鈴木 忠平 著
文藝春秋

ファイターズが総工費600億円を投じて完成したES CON FIELD HOKKAIDO。資金調達、建設地探し…。無数のタスクに立ち向かい、大志を形にした男たちの物語を描く。

読売新聞 2023/06/04

2023:3./ 293p
978-4-16-391678-1

¥1,980〔税込〕



かっかどるどるどう

若竹 千佐子 著
河出書房新社

心もとない毎日を送る4人は、引きつけられるように古いアパートの一室を訪れるようになる。そこでは不思議な女性が、訪れる人たちに食事をふるまっていて…。『文藝』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2023/06/04

2023:5./ 223p
978-4-309-03079-1

¥1,650〔税込〕



おらおらでひとりいぐも(河出文庫 わ7-1)

若竹 千佐子 著
河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。

読売新聞 2023/06/04

2020:6./ 191p
978-4-309-41754-7

¥693〔税込〕



眠りつづける少女たち～脳神経科医は<謎の病>を調査する旅に出た～

スザンヌ・オサリバン 著
紀伊國屋書店出版部

あきらめ症候群、眠り病、解離性発作…。脳神経外科医が、<謎の病>とされる症例の実態を確かめるべく世界各地へ赴き、患者と関係者へのインタビューをもとに地域固有の文化や社会背景を踏まえて考察し、<謎>の正体に迫る。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 431p
978-4-314-01197-6

¥2,750〔税込〕





<ポストヒューマン>の文学～埴谷雄高、花田清輝、安部公房、そして澁澤龍彦～

藤井貴志 著
国書刊行会

人間の“後”には、何が来るのか？ 人間中心主義の超克を画策する埴谷雄高・花田清輝・安部公房・澁澤龍彦らの文学を共振させ、来るべきポストヒューマンのヴィジョンへと架橋する論考。

読売新聞 2023/06/04

2023:2./ 504p
978-4-336-07455-3

¥4,400〔税込〕



クスノキの番人(実業之日本社文庫 ひ 1-5)

東野 圭吾 著
実業之日本社

不当な理由で解雇された職場に盗みに入り逮捕された直井玲斗は、弁護士費用を支払ってくれた伯母だという女性から、クスノキの番人をするように命じられる。そのクスノキには、祈れば願いが叶うという不思議な言伝えがあり…。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 483p
978-4-408-55803-5

¥990〔税込〕



ベンヤミンの歴史哲学～ミクロロジーと普遍史～(関西学院大学研究叢書 第253編)

宇和川 雄 著
人文書院

「歴史」に翻弄された思想家ベンヤミンは、「歴史」をどう捉えていたのか。ドイツ精神史との対話、同時代人との対決のなかにベンヤミンの思考の軌跡をたどり、その未完の「歴史哲学」の核心に迫る。

読売新聞 2023/06/04

2023:3./ 358p
978-4-409-03120-9

¥4,950〔税込〕



K-POP 現代史～韓国大衆音楽の誕生から BTS まで～(ちくま新書 1722)

山本 浄邦 著
筑摩書房

K-POP の熱狂はいかにして生まれたのか。植民地支配における韓国大衆音楽の誕生から、BTS の世界的成功まで、激動の 100 年の情勢を押さえつつ、今日に至るジャンルと国境を越えたダイナミックな発展を通史的に論じる。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 253p
978-4-480-07547-5

¥946〔税込〕



幻の麺料理～再現 100 品～

魚柄 仁之助 著
青弓社

独自の発達を遂げてきた日本の麺料理。戦前のナポリタンうどん、カレー餡かけそば、納豆スパゲティなど、幻の麺料理のレシピを、明治・大正・昭和の雑誌や料理本から発掘し、実作・実食する検証レシピエッセー。

読売新聞 2023/06/04

2023:3./ 203p
978-4-7872-2098-1

¥2,200〔税込〕





教師という接客業(草思社文庫 さ 5-1)

齋藤 浩 著
草思社

いびつな「顧客志向」が学校をダメにする! 現役の公立小学校教師が、「接客業化」によって機能不全に陥りかけている学校の実態を生々しく綴る。教師たちのリアルな体験を紹介しつつ、教育の本来的な役割を問い直す。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 218p
978-4-7942-2651-8
¥880 [税込]



自然

山内 悠 著
青幻舎

全てのものはあるがままに存在している。千年以上の命が密集する自然、闇夜にヘッドライトで照れされた樹々…。2012年から21年まで、毎年夏の約1カ月間、屋久島の森の中にひとりで籠ることを繰り返して生まれた写真集。

読売新聞 2023/06/04

2023:5./ 144p
978-4-86152-916-0
¥8,800 [税込]



反戦平和の詩人 四國五郎

四國 光 著
藤原書店

満洲へ従軍、苛烈なシベリア抑留を経て帰国するも、最愛の弟の被爆死に直面し、以後、戦争の惨禍を伝えるために、膨大な絵と詩を描き続けた詩人・四國五郎。家族の視線からその軌跡をたどり、素顔に迫る。

読売新聞 2023/06/04

2023:5./ 440p
978-4-86578-387-2
¥2,970 [税込]



カメラを止めて書きます

ヤン ヨンヒ 著
クオン

家族を撮り続けることは自分への問いかけ-。映画監督ヤンヨンヒが、自らの家族にカメラを向けた<家族ドキュメンタリー映画3部作>のビハインドストーリーや、撮り続けるなかで感じる想いを、率直な語り口で綴る。

読売新聞 2023/06/04

2023:4./ 248p
978-4-910214-49-8
¥2,200 [税込]



戦争に行った父から、愛する息子たちへ

ティム・オブライエン 著
作品社

遠い戦地で兵士だった時代について、腹を割って、君に話してみたい-。戦争の真実を伝え続けて著名なベトナム帰還兵の作家による、50歳を過ぎて生まれた2人の息子と、いつか去り行くこの世界への、慈愛に満ちたメッセージ。

読売新聞 2023/06/04、日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 284p
978-4-86182-976-5
¥2,640 [税込]





人の波に乗らない～笑ってる場合かヒゲ～

藤村忠寿 著
朝日新聞出版

「水曜どうでしょう」のディレクター・藤村忠寿がコロナ禍で考えたこととは？ 揺れ動いた 2020～2022 年の日々を生の言葉で綴る。『朝日新聞』北海道版の連載を加筆修正。

読売新聞 2023/06/11

2023:4./ 229p
978-4-02-251885-9

¥1,540〔税込〕



春に散る<上>(朝日文庫 さ 39-4)

沢木耕太郎 著
朝日新聞出版

「俺たちにはまだ、やり残したことがある」 40年ぶりにアメリカから帰国した広岡。かつてボクシングの世界で共に頂点を目指した仲間と再会し、共同生活を送ることに。彼らは自分にとって何が大事なのか見つめ直し始め…。

読売新聞 2023/06/11

2020:2./ 474p
978-4-02-264947-8

¥792〔税込〕



春に散る<下>(朝日文庫 さ 39-5)

沢木耕太郎 著
朝日新聞出版

才能溢れる青年ボクサー・翔吾と出会った広岡たちは、彼の世界チャンプの夢を共に追い始め…。自らが得たものを次の世代へ手渡せるのか。どう生きて、そしてどう死ぬかを壮大に描く。文庫版あとがきを収録。

読売新聞 2023/06/11

2020:2./ 479p
978-4-02-264948-5

¥792〔税込〕



吸血鬼ハンター"D"<1> 新版(朝日文庫 き 18-1)

菊地 秀行 著
朝日新聞社
読売新聞 2023/06/11

2007:12./ 282p
978-4-02-265500-4

¥638〔税込〕



徒然草～現代語訳付き～ 新版(角川ソフィア文庫 A311-1)

兼好法師／小川 剛生 著
KADOKAWA

日本人にもっとも親まれてきた随筆「徒然草」。人生・恋愛・政道など、243段の話題がしばしば連想的な配列で並ぶ。近年劇的に進んだ中世の歴史学の研究成果を取り込み、本文、注釈、現代語訳のすべてを刷新した新版。

読売新聞 2023/06/11

2015:3./ 475p
978-4-04-400118-6

¥1,188〔税込〕





ヴィンテージガール～仕立屋探偵桐ヶ谷京介～(講談社文庫 か 132-10)

川瀬 七緒 著

講談社

東京の高円寺南商店街で仕立て屋を営む桐ヶ谷京介。美術解剖学と服飾の知識で、服のシワを見ればその人の受けた暴力や病気などがわかる京介は、偶然目にしたテレビの公開捜査番組の遺留品のワンピースが気に掛かり...

読売新聞 2023/06/11

2023:5./ 405p
978-4-06-531171-4

¥902〔税込〕



吼えろ道真～大宰府の詩～(集英社文庫 さ 56-3)

澤田 瞳子 著

集英社

菅原道真が大宰府に流されて5カ月。左遷に怒り泣き喚いていた道真も、唐物の目利きをする愉しみを覚えた。ある日、京から唐物使の役人が来て...。ユーモラスな歴史小説。『Web 集英社文庫』配信を加筆修正。

読売新聞 2023/06/11

2022:10./ 248p
978-4-08-744444-5

¥660〔税込〕



東京路線バス文豪・もののけ巡り旅(小学館新書 448)

西村 健 著

小学館

ちょっとバスに乗るだけで、それは「小さな旅」になる。小説の舞台、パワースポット、観光名所...。作家が路線バスに飛び乗って、東京中をぐるぐる巡る。章末ではバスルートも解説。Web サイト『tree』連載に加筆修正。

読売新聞 2023/06/11

2023:4./ 189p
978-4-09-825448-4

¥990〔税込〕



本居宣長<上> 改版(新潮文庫)

小林 秀雄 著

新潮社

伊勢松坂に温かな常識人として身を処し、古典作者との対話に人生の意味と道の学問を究めた宣長の人と思想は、時代をこえてわれわれを深い感動の世界につつまこむ。著者がその晩年、全精力を傾注して書きついだ畢生の大業。

読売新聞 2023/06/11

2007:6./ 475p
978-4-10-100706-9

¥990〔税込〕



本居宣長<下> 改版(新潮文庫)

小林 秀雄 著

新潮社

ひらすら宣長の肉声に耳を傾けながら、その徹底した学問と人生の態度を味わい、いかに生くべきかを究めた本書は、同時に現代最高の知性、小林秀雄の思索の到達点でもあった。本篇刊行後に上梓された「本居宣長補記」を併録する待望の文庫版。

読売新聞 2023/06/11

2007:6./ 466p
978-4-10-100707-6

¥880〔税込〕





街とその不確かな壁

村上 春樹 著
新潮社

その街に行かなくてはならない。なにがあらうと-。<古い夢>が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。魂を揺さぶる書下ろし長編。

読売新聞 2023/06/11

2023:4./ 661p
978-4-10-353437-2

¥2,970〔税込〕



モネ狩り

寺嶋 曜 著
新潮社

事故で右眼を失明した警察官の尾崎冴子。その右眼は3年前の光景を映すようになった。それを知った署長の深澤は、尾崎の信頼する弓削警部補と共に、未解決一家四人殺害事件の再捜査に乗り出すが...

読売新聞 2023/06/11

2023:3./ 356p
978-4-10-354971-0

¥1,925〔税込〕



バレエの世界史～美を追求する舞踊の600年～(中公新書 2745)

海野敏 著
中央公論新社

ダ・ヴィンチ制作の舞台装置、ルイ14世が舞った「太陽」役、チャイコフスキーの三大バレエ、シャネルやピカソが参加したバレエ・リュス...。約600年にわたるバレエの変遷を、世界史の流れに沿って紹介する。

読売新聞 2023/06/11

2023:3./ 3p,306p
978-4-12-102745-0

¥1,034〔税込〕



対談日本の文学～素顔の文豪たち～(中公文庫 ち8-16)

中央公論新社 著
中央公論新社

森鷗外・幸田露伴の娘、芥川龍之介の息子、谷崎潤一郎・太宰治の妻、夏目漱石の息子と弟子...。文豪の家族や弟子が、間近に見たその生身の姿を語る。全集「日本の文学」の月報対談を再編集。

読売新聞 2023/06/11

2023:4./ 393p
978-4-12-207359-3

¥1,320〔税込〕



もっとホワット・イフ?～地球の1日が1秒になったらどうなるか～

ランドール・マンロー 著
早川書房

宇宙まで飛んでいけるプランコは作れる? ローマを1日で作るには何人の人間が必要? 元NASAのコミック作家が、突拍子もない質問の数々に、物理と数学とマンガで答える。

読売新聞 2023/06/11

2023:2./ 399p
978-4-15-210213-3

¥1,980〔税込〕





11人の考える日本人～吉田松陰から丸山眞男まで～(文春新書 1397)

片山 杜秀 著

文藝春秋

迫り来るグローバル化の圧力。日本人はいかに生きてらよいか? 幕末を生きた吉田松陰、福沢諭吉から、昭和の戦争に直面した小林秀雄、丸山眞男まで、「考える日本人」の思想と生き方に学ぶ。連続講座の内容をもとに新書化。

2023:2./ 255p
978-4-16-661397-7

¥1,210 [税込]



読売新聞 2023/06/11



ジョン・メイナード・ケインズ～1883-1946～<上>

ロバート・スキデルスキー 著

日経BP社

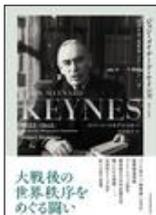
2つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。上は、両親・家族、出生から、大恐慌の到来までを収録。

2023:2./ 17p,640p
978-4-296-11356-9

¥4,950 [税込]



読売新聞 2023/06/11



ジョン・メイナード・ケインズ～1883-1946～<下>

ロバート・スキデルスキー 著

日経BP社

2つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。下は、不況の理論的説明から死に至るまでの後半生を収録。

2023:2./ 620p,27p
978-4-296-11357-6

¥4,950 [税込]



読売新聞 2023/06/11



虚心

吉川 英梨 著

幻冬舎

埼玉県の黒部山で土砂崩れが発生。一人が行方不明になるなか、崩落した瓦礫からは不法投棄された産業廃棄物が大量に見られる。県警捜査一課の奈良健市が山の所有者を調べ始めると、16年前の遺恨相手が浮かび上がり...

2023:3./ 428p
978-4-344-04089-2

¥1,980 [税込]



読売新聞 2023/06/11



50歳からやっつけられないお金のこと(PHP ビジネス新書 458)

大江 英樹 著

PHP研究所

日々の節約に励んだり、会社での出世に執着したり、よくわからないまま投資を始めたりするのは逆効果! 黄金の50代を過ごすために必要となる考え方を経済的な面を中心に解説する。『THE21』連載を加筆し新書化。

2023:5./ 252p
978-4-569-85478-6

¥1,100 [税込]



読売新聞 2023/06/11



野菜づくり、はじめます!〜マンガと図解でわかる!〜一番やさしい家庭菜園の本〜

荻野千佳 著

S Bクリエイティブ

知識ゼロからでも大丈夫! 野菜づくりの最初の一步を踏み出すための超入門書。東京都在住の著者の経験にもとづいた知識と、農家の人に学んだ知識をマンガでわかりやすく紹介します。育てやすい20種の図解つき。

読売新聞 2023/06/11

2023:3./ 167p
978-4-8156-1843-8

¥1,496〔税込〕



Remember 記憶の科学〜しっかり覚えて上手に忘れるための18章〜

リサ・ジェノヴァ 著

白揚社

認知症による物忘れと、年齢相応の物忘れの違いは? 記憶の仕組みを活かした、画期的な暗記法とは? 作家で神経科学者のリサ・ジェノヴァが、記憶が形成される仕組みや、記憶の驚異のパワーと弱点をわかりやすく解説する。

読売新聞 2023/06/11

2023:5./ 286p
978-4-8269-0246-5

¥2,970〔税込〕



ヴィラ=ロボス〜ブラジルの大地に歌わせるために〜

木許 裕介 著

春秋社

フォルクローレとは私のことだ-。死後、紙幣の肖像に採用され、公園や劇場など至るところに今もその名を残すブラジルの作曲家ヴィラ=ロボス。「ブラジルのクラシック音楽」を打ち立てた彼の膨大な作品と数々の伝説に迫る。

読売新聞 2023/06/11、朝日新聞 2023/06/17

2023:3./ 16p,459p,22p
978-4-393-93228-5

¥4,180〔税込〕



アメリカは内戦に向かうのか

バーバラ・F・ウォルター 著

東洋経済新報社

「Qアノン」扇動による連邦議会襲撃事件は、本格的な党派闘争の序章になるのか。過去の内戦に関するデータから、紛争が起きる条件と心理についてのパターンを分析。アメリカの内戦の危機接近度を明らかにする。

読売新聞 2023/06/11、日本経済新聞 2023/06/17

2023:4./ 286p,32p
978-4-492-44473-3

¥2,640〔税込〕



塀の中のおばあさん〜女性刑務所、刑罰とケアの狭間で〜(角川新書 K-417)

猪熊 律子 著

KADOKAWA

激増する高齢女性受刑者。彼女たちはなぜ塀の中へ来て、今、何を思うのか。受刑者らの生々しい声や、刑罰とケアの狭間で苦悩する刑務官らの本音等から、超高齢社会の新課題に迫る。『読売新聞』連載を再構成し加筆・修正。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 246p
978-4-04-082470-3

¥1,034〔税込〕





占星術殺人事件 改訂完全版(講談社文庫 し 26-29)

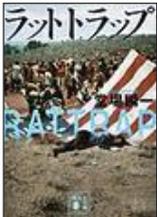
島田 荘司 著
講談社

密室で殺された画家が遺した手記には、6人の処女の肉体から完璧な女を創る計画が書かれていた。その後、彼の6人の娘たちが行方不明となり肉体の一部を切り取られた形で発見される。迷宮入りした猟奇殺人のトリックとは？

読売新聞 2023/06/18

2013:8./ 529p
978-4-06-277503-8

¥1,034 [税込]



ラットトラップ(講談社文庫 と 55-22)

堂場 瞬一 著
講談社

愛と平和の祭典、ウッドストック・フェスティバル。若者たちが音楽に酔いしれる中、一人の少女が消えた。探偵ジョーは、コンサート会場で少女が中年のヒッピー女性と一緒にいたとの証言を得て、現地へ向かうが...

読売新聞 2023/06/18

2023:5./ 457p
978-4-06-531247-6

¥968 [税込]



首都の議会~近代移行期東京の政治秩序と都市改造~

池田 真歩 著
東京大学出版会

明治初年から日清戦後にかけての東京の議会を、政治争点としての都市改造、および議会内外の集団・団体が織りなす関係構造に重視して分析。始動期の東京の議会をとりまく政治環境を、その流動性や重層性をふくめて考察する。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 5p,364p,10p
978-4-13-026612-3

¥7,700 [税込]



金融危機の経済分析

桜川 昌哉 著
東京大学出版会

過大な銀行システムが経済的弊害をもたらす。80年代にバブルを生み、90年代に不良債権問題の長期化を許してきたメカニズムはいかなるものか。危機にある日本経済の構造的問題の本質をとらえる新しいマクロ経済理論。

読売新聞 2023/06/18

2002:6./ 281p
978-4-13-040192-0

¥5,060 [税込]



なぜ「救い」を求めるのか(宗教のきほん)

島 蘭 進 著
NHK出版

キリスト教、仏教、イスラームなど、「救い」を重視する宗教「救済宗教」に焦点を当てて「宗教とは何か」を考察。救済宗教と文明の歴史をたどり、宗教という営みそのものの核心に迫る。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 213p
978-4-14-081935-7

¥1,870 [税込]





小説で読みとく古代史～神武東遷、大悪の王、最後の女帝まで～(NHK 出版
新書 697)

周防 柳 著
NHK出版

古代に起こったあの事件・出来事を、歴史を題材にした小説作品に定評のある作家が、先達が自作で展開した諸説を辿りながら、自らも事件の背景や人物像を考察。古代史の真相に迫る。WEB『本がひらく』連載に加筆し再構成。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 253p
978-4-14-088697-7

¥1,023〔税込〕



9 7 8 4 1 4 0 8 8 6 9 7 7



99パーセントのための社会契約～会社、国家、市民の未来～

アレック・ロス 著
早川書房

会社の利益を最大化する株式資本主義から、市民の生活や権利を守るステークホルダー資本主義へ。ヒラリー・クリントンの上級顧問を務めた著者が、具体的なビジョンをもとに、市民を主体とした社会契約論を説く。

読売新聞 2023/06/18

2023:4./ 398p
978-4-15-210228-7

¥2,640〔税込〕



9 7 8 4 1 5 2 1 0 2 2 8 7



青春とは、(文春文庫 ひ14-5)

姫野 カオルコ 著
文藝春秋

定年退職しシェアハウスに越してきた独身の乾明子。借りたままの本や名簿から、地方の共学の公立高時代が蘇る。胸キュンもスマホもなく地味なだけ。でもなぜあんなにオカシかったのだろうか…。大人だからわかる青春小説。

読売新聞 2023/06/18

2023:5./ 271p
978-4-16-792041-8

¥825〔税込〕



9 7 8 4 1 6 7 9 2 0 4 1 8



仮面物語～或は鏡の王国の記～

山尾悠子 著
国書刊行会

著者 20代の時に書き下ろされ、その後 40年にわたってみずから手で封印されていた伝説の問題作。影盗み、迷路、自動人形、魔術師、ゴオレム、結晶体、月…。乱反射する鏡の王国の壮大な崩壊を描く、目眩く傑作長編小説。

読売新聞 2023/06/18

2023:5./ 307p
978-4-336-07503-1

¥3,960〔税込〕



9 7 8 4 3 3 6 0 7 5 0 3 1



ACE サバイバー～子ども期の逆境に苦しむ人々～(ちくま新書 1728)

三谷 はるよ 著
筑摩書房

子どもの時に虐待やネグレクト、家族の問題などを重ねた人ほど、その後の人生で苦しむ確率が高い。その実態をデータを基に明らかにし、彼らが生きやすく、不利にならない社会にするためにはどうしたらいいかを提起する。

読売新聞 2023/06/18

2023:5./ 261p
978-4-480-07551-2

¥968〔税込〕



9 7 8 4 4 8 0 0 7 5 5 1 2



母は死ねない

河合 香織 著
筑摩書房

育てたい。愛したい。それだけの願いを叶えることが、こんなにも難しい。自らも母としてあがくノンフィクション作家が、様々な女性たちの声を聴き取り、綴る。『ちくま』連載を大幅に改稿し、書き下ろしを加える。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 214p
978-4-480-81570-5

¥1,650〔税込〕



9 78 44 80 81 57 05



お寺の行動経済学

中島 隆信 著
東洋経済新報社

ひとはなぜ厄除けをやめられないのか？ 厄年表も各種ご祈禱もお寺の巧みな「営業戦略」？ 両者の行動を「行動経済学」から分析し、お寺との正しい付き合い方を伝授するとともに、今後の寺院と僧侶のあるべき姿を考える。

読売新聞 2023/06/18

2023:4./ 12p,193p
978-4-492-31548-4

¥1,760〔税込〕



9 78 44 92 31 54 84



バブルの経済理論～低金利、長期停滞、金融劣化～

櫻川 昌哉 著
日本経済新聞出版社

利子率が成長率を下回るとき、バブルは必然化する。理論経済学者が世界のバブルを分析し、「バブル経済」の本質を歴史と理論から解明。バブルを介して、低金利に直面する現代のマクロ経済を捉え直す。

読売新聞 2023/06/18

2021:5./ 497p
978-4-532-35886-0

¥4,950〔税込〕



9 78 45 32 35 88 60



糸暦(MOE BOOKS)

小川 糸 著
白泉社

季節を愛おしみ、旬を味わう。絶品の山菜料理、りんごケーキ、栗ごはん、手作り石けん、湯治…。小川糸が、巡る季節を自分流に楽しむ暮らしを綴る。料理のレシピも掲載。『月刊 MOE』連載に加筆し再構成して単行本化。

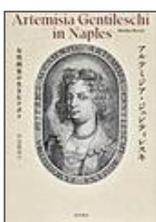
読売新聞 2023/06/18

2023:4./ 191p
978-4-592-73313-3

¥1,540〔税込〕



9 78 45 92 73 31 33



アルテミジア・ジェンティレスキ～女性画家の生きたナポリ～

川合 真木子 著
晃洋書房

17世紀ナポリで数少ない女性画家として活躍したアルテミジア・ジェンティレスキ。大聖堂装飾への挑戦、詩人たちとの交流、顧客や同郷人との関係など、作品と史料の双方からその画業と人生を明らかにする。カラー図版も収録。

読売新聞 2023/06/18

2023:2./ 6p,278p,171p
図版 8 枚

978-4-7710-3688-8

¥13,200〔税込〕



9 78 47 71 03 68 88



そして市場は続く〜那覇の小さな街をたずねて〜

橋本倫史 著
本の雑誌社

70年以上の歴史を持つ沖縄県那覇市の第一牧志公設市場。地元で愛され観光地としても賑わう場所の建て替え工事は、市場の人々にどんな影響を及ぼしたのか？時代の変化の相貌を4年間にわたる丹念な取材で捉えた濃厚な記録。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 333p
978-4-86011-476-3

¥2,200〔税込〕



地獄遊覧〜地獄と天国の想像図・地図・宗教画〜(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編
エドワード・ブルック・ヒッチング 著
日経ナショナルジオグラフィック社

死者の行先を選別するチンワト橋、燃え盛るイスラムの火獄、死後の世界の地図…。天国と地獄をめぐる神話と、それを美しく、あるいは生々しく表現した絵画・地図・彫像を紹介。著者が蒐集した珍しい作品も収録する。

読売新聞 2023/06/18

2023:3./ 255p
978-4-86313-523-9

¥3,300〔税込〕



音楽は自由にする(新潮文庫 さ-37-2)

坂本 龍一 著
新潮社

幼稚園での初めての作曲。厳格な父の記憶。高校でのストライキ。YMOの狂騒。「ラストエンペラー」での苦闘と栄光。同時多発テロの衝撃。そして辿りついた新しい音楽-。57年間の半生と音楽を自らの言葉で語った自伝。

読売新聞 2023/06/18、日本経済新聞 2023/06/24

2023:5./ 331p
978-4-10-129122-2

¥1,100〔税込〕



一球の記憶

宇都宮ミゲル 著
朝日新聞出版

歓喜、衝撃、悔恨。昭和のプロ野球選手が語る、永遠に刻まれたドラマとは。若松勉、東尾修、村田兆治、江川卓らスター選手37人の「記憶に残る一球」に迫るインタビュー集。『昭和40年男』連載に新規取材を加えて単行本化。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 461p
978-4-02-251892-7

¥2,178〔税込〕



銀河鉄道の父(講談社文庫 か126-2)

門井 慶喜 著
講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。

読売新聞 2023/06/25

2020:4./ 520p
978-4-06-518381-6

¥1,012〔税込〕





ナイロビの蜂<上>(集英社文庫)

ジョン・ル・カレ 著
集英社
読売新聞 2023/06/25

2003:12./ 390p
978-4-08-760450-4
¥995〔税込〕



ナイロビの蜂<下>(集英社文庫)

ジョン・ル・カレ 著
集英社
読売新聞 2023/06/25

2003:12./ 366p
978-4-08-760451-1
¥942〔税込〕



世界でいちばん透きとおった物語(新潮文庫 nex す-31-2)

杉井 光 著
新潮社

大御所ミステリ作家宮内彰吾が死去。妻帯者ながら多くの女性と交際し、外にできた子供が僕だ。宮内の長男からの連絡をきっかけに、父が最後に書いていたらしい「世界でいちばん透きとおった物語」を探しはじめるが...

読売新聞 2023/06/25

2023:5./ 235p
978-4-10-180262-6
¥737〔税込〕



江戸一新

門井慶喜 著
中央公論新社

江戸が燃え尽きた「明暦の大火」。この大惨事に立ち上がった老中・松平伊豆守信綱は、町奴・花川戸の長兵衛を「斥候」として使いながら、「江戸一新」に乗り出し...。『読売新聞』連載を加筆・修正。

読売新聞 2023/06/25

2022:12./ 383p
978-4-12-005609-3
¥1,980〔税込〕



寒い国から帰ってきたスパイ(ハヤカワ文庫 NV174)

ジョン・ル・カレ 著
早川書房

作者自身情報部員ではないかと疑われたほどのリアルな描写と、結末の見事などんでん返しとによってグレアム・グリーンに絶賛され、英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

読売新聞 2023/06/25

1978:5./ 382p
978-4-15-040174-0
¥990〔税込〕



スマイリーと仲間たち(ハヤカワ文庫 NV439)

ジョン・ル・カレ 著
早川書房
読売新聞 2023/06/25

1987:4./ 575p
978-4-15-040439-0
¥1,540〔税込〕





スパイはいまも謀略の地に(ハヤカワ文庫 NV1506)

ジョン・ル・カレ 著
早川書房

イギリス秘密情報部のベテラン情報部員ナットは、引退の時期が迫るも、対ロシア活動部署の再建を任される。そこでロシアの大物スパイの活動をつかみ…。EU 離脱に揺れるイギリスを舞台に、練達のスパイの信念と誇りを描く。

読売新聞 2023/06/25

2023:2./ 447p
978-4-15-041506-8

¥1,408〔税込〕



007/わたしを愛したスパイ 改訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫)

イアン・フレミング 著
早川書房

読売新聞 2023/06/25

1998:6./ 238p
978-4-15-171354-5

¥660〔税込〕



007/ドクター・ノオ 改訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫)

イアン・フレミング 著
早川書房

読売新聞 2023/06/25

1998:10./ 344p
978-4-15-171355-2

¥814〔税込〕



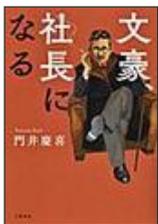
007 は二度死ぬ 改訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫)

イアン・フレミング 著
早川書房

読売新聞 2023/06/25

2000:1./ 288p
978-4-15-171357-6

¥792〔税込〕



文豪、社長になる

門井 慶喜 著
文藝春秋

1923年、大ベストセラー作家・菊池寛によって、文春は産声をあげたが…。激動の時代に翻弄されながらも、文豪、社長として、波乱に満ちた生涯を送った男の、史実に基づいた物語。『オール読物』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 349p
978-4-16-391667-5

¥1,980〔税込〕



21世紀の財政政策～低金利・高債務下の正しい経済戦略～

オリヴィエ・ブランシャール 著
日経BP社

長期に及ぶ低金利、目標に到達しないインフレと低成長…。金融政策が実効下限制約に直面する中で、日本に本当に必要な経済政策とは何か。マクロ経済学的世界的権威が、経済の安定化に向けて、財政政策の役割を明らかにする。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 275p
978-4-296-11430-6

¥3,080〔税込〕





ババヤガの夜(河出文庫 お46-1)

王谷 晶 著
河出書房新社

愛ではない。愛していないから憎みもしない。憎んでないから一緒にいられる-。暴力を唯一の趣味とする新道依子は、腕を買われ暴力団会長の一人娘を護衛することになり…。バイオレンスアクション。

読売新聞 2023/06/25

2023:5./ 204p
978-4-309-41965-7
¥748〔税込〕



公営企業の論理～大都市水道事業と地方自治～

宇野 二郎 著
勁草書房

料金は高いけれど頑丈な東京の水道と、老朽化しているが料金の安い大阪市の水道。その違いはなぜ生まれたのか。地方公営企業の自律性に注目してこの謎を解き、公営企業の本質を探る。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 8p,294p
978-4-326-30326-7
¥5,720〔税込〕



犬は「びよ」と鳴いていた～日本語は擬音語・擬態語が面白い～(光文社未来ライブラリー Mヤ-4-1)

山口仲美 著
光文社

朝日は「つるつる」、月は「うるうる」と昇っていた!? 英語の3倍、1200種にも及ぶ日本語の名脇役、擬音語・擬態語の魅力と歴史と謎を興味深く解き明かす。

読売新聞 2023/06/25

2023:5./ 289p
978-4-334-77070-9
¥1,056〔税込〕



世界はシンプルほど正しい～「オッカムの剃刀」はいかに今日の科学をつくったか～

ジョンジョー・マクファデン 著
光文社

複雑な理論よりも単純な理論の方が正しい。「オッカムの剃刀」と呼ばれるこの原則は、科学を宗教の支配から解放し、多くの科学的発見を支えた。中世の神学者“オッカムのウィリアム”の思想と影響を、科学の発展史と共に辿る。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 484p
978-4-334-96263-0
¥2,860〔税込〕



ボンヘッファー獄中書簡集

ボンヘッファー、E・ベートゲ 著
新教出版社

読売新聞 2023/06/25

1988:11./ 488,16p
978-4-400-30316-9
¥6,600〔税込〕





心理学をつくった実験 30(ちくま新書 1719)

大芦 治 著
筑摩書房

実験研究を重視してきた近代心理学。「バヴロフの犬」「マシュマロテスト」など広く知られ、大きな影響力を持つ 30 の実験をセレクトし、その内容と影響を紹介しながら、心理学という学問の歴史とその広がりを一望する。

読売新聞 2023/06/25

2023:4./ 269p
978-4-480-07544-4

¥968 [税込]



休館日の彼女たち

八木 詠美 著
筑摩書房

ホラウチリカが大学の恩師から紹介された仕事は、古代ローマの女神像のおしゃべり相手だった。有機物と無機物の境界すら越えて、ホラウチリカとヴィーナスは手に手を取り合い駆け出していく…。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 151p
978-4-480-80510-2

¥1,540 [税込]



007/ロシアから愛をこめて(創元推理文庫 M フ 10-4)

イアン・フレミング 著
東京創元社

ソ連の殺害実行機関からジェームズ・ボンドの死刑執行指令が下った。巧妙に張りめぐらされた二重三重の罠と、ボンドを襲う最大の危機! 007 シリーズ最高傑作の新訳。小説・映画の魅力を網羅した解説付き。

読売新聞 2023/06/25

2021:12./ 441p
978-4-488-13810-3

¥1,210 [税込]



プーチン<上> 生誕から大統領就任まで

フィリップ・ショート 著
白水社

プーチンとは何者なのか。元 BBC 記者の伝記作家が、8 年がかりの調査取材と精細な筆致で、70 年に及ぶ経歴、言動、個性、思考を徹底検証する。上は、ウラジーミル・プーチンの生誕から大統領就任までを収録。口絵写真付き。

読売新聞 2023/06/25

2023:5./ 468p,124p
978-4-560-09497-6

¥4,950 [税込]



プーチン<下> テロから戦争の混迷まで

フィリップ・ショート 著
白水社

プーチンとは何者なのか。元 BBC 記者の伝記作家が、8 年がかりの調査取材と精細な筆致で、70 年に及ぶ経歴、言動、個性、思考を徹底検証する。下は、アメリカ同時多発テロからウクライナ侵攻までを収録。口絵写真付き。

読売新聞 2023/06/25

2023:6./ 436p,112p
978-4-560-09498-3

¥4,950 [税込]





奇跡のフォント～教科書が読めない子どもを知って-UD デジタル教科書体開発物語～

高田 裕美 著
時事通信出版局

読み書き障害でも読みやすいフォントはどう生まれたのか? 「UD デジタル教科書体」を開発した書体デザイナーが、その試行錯誤と工夫を明かす。多様性の時代における教育・ビジネスのヒントになる一冊。

読売新聞 2023/06/25

2023:4./ 237p
978-4-7887-1871-5

¥1,980 [税込]



装幀余話

菊地信義 著
作品社

生きていることのすべてが装幀の素材になっていた。15000 点余の本を手がけた、稀代の装幀者が、本と装幀への思いを語り下ろす。2014 年に行われた展覧会での講演、インタビュー、単行本未収録のエッセイなどを収録。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 309p
978-4-86182-960-4

¥2,970 [税込]



封鎖法の現代的意義～長距離封鎖の再評価と地理的限定～

浦口 薫 著
大阪大学出版会

2 度の世界大戦でイギリスが実施した長距離封鎖は合法だったのか。海上封鎖は現代でも有効な海戦の方法なのか。武力紛争法の 1 つである封鎖法を、形成の歴史の分析を通じて再評価すると共に、現代的な視点から意義を考察する。

読売新聞 2023/06/25

2023:3./ 11p,353p
978-4-87259-775-2

¥4,840 [税込]



源氏手帖

長谷川 春子 著
共和国/editorial republica

戦時下アジアの女性たちから戦後の人物月旦、源氏物語絵巻まで。激動の時代を生き抜いた画家・文筆家の長谷川春子の世界を、カラー図版や新発見の原稿・画稿も紹介しながら展開する。「踊る女と八重桃の花」の姉妹編。

読売新聞 2023/06/25

2023:5./ 337p 図版 16p
978-4-907986-89-6

¥2,970 [税込]



生命とは何か～物理的にみた生細胞～(岩波文庫 青 946-1)

シュレーディンガー 著
岩波書店

量子力学を創始し、原子物理学の基礎を築いた人が追究した生命の本質とは?本書は分子生物学の生みの親となった 20 世紀の名著である。生物現象ことに遺伝のしくみと染色体行動における物質の構造と法則を物理学と化学で説明し、生物における意義を究明する。

日本経済新聞 2023/06/03

2008:5./ 215p
978-4-00-339461-8

¥792 [税込]





生物と無生物のあいだ(講談社現代新書)

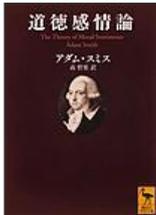
福岡 伸一 著
講談社

「生きている」とはどういうことか？ 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちに光を当てながら平易に明かす。ページをめくる手がとまらない極上の科学ミステリー。

日本経済新聞 2023/06/03

2007:5./ 285p
978-4-06-149891-4

¥968〔税込〕



道徳感情論(講談社学術文庫 2176)

アダム・スミス 著
講談社

調和ある社会の原動力とは何か?啓蒙思想家アダム・スミスが、鋭い観察眼・深い洞察力と圧倒的な例証により、個人の心理と社会の関係を解明する不朽の社会論。

日本経済新聞 2023/06/03

2013:6./ 697p
978-4-06-292176-3

¥2,321〔税込〕



上を向いて歩こう～奇跡の歌をめぐるノンフィクション～(小学館文庫 さ24-1)

佐藤 剛 著
小学館

中村八大作曲、永六輔作詞、坂本九が歌った「上を向いて歩こう」は、全米ヒットチャート1位の快挙を達成し、全世界でヒットした。この奇跡の歌の誕生のいきさつと歩みを、膨大な資料と綿密な取材を基に明らかにする。

日本経済新聞 2023/06/03

2015:12./ 413p
978-4-09-406242-7

¥781〔税込〕



福岡伸一、西田哲学を読む～生命をめぐる思索の旅～(小学館新書 386)

福岡 伸一／池田 善昭 著
小学館

「動的平衡」概念の提唱者である分子生物学者・福岡伸一が、西田哲学の継承者・池田善昭を指南役に、専門家でも難解とされる西田哲学を鮮やかに読み解く。生命誕生の謎に迫る「動的平衡」理論編も収録。

日本経済新聞 2023/06/03

2020:12./ 462p
978-4-09-825386-9

¥1,320〔税込〕



数学する身体(新潮文庫 も-42-1)

森田 真生 著
新潮社

思考の道具として身体から生まれた数学。身体を離れ、高度な抽象化の果てにある可能性とは? 数学を通して「人間」に迫る、若き異能の躍動するデビュー作。

日本経済新聞 2023/06/03

2018:5./ 227p
978-4-10-121366-8

¥605〔税込〕





統一教会～性・カネ・恨から実像に迫る～(中公新書 2746)

櫻井義秀 著
中央公論新社

朝鮮戦争後の韓国で創設された小教団は、いかにして日本政治との蜜月を築き、世界宣教・財閥化をなしたか。統一教会について、歴史的背景、教義、組織構造、法的観点などから多角的に論じる。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:3./ 5p,328p
978-4-12-102746-7

¥1,056 [税込]



会話の科学～あなたはなぜ「え？」と言ってしまうのか～

ニック・エンフィールド 著
文藝春秋

つい口にする「はあ?」「えーと」に重大な意味があった!「話者交代のタイミング」「質問と答えの関連性」など、これまで言語学が見逃してきた日常会話に注目し、言葉の秘密に迫る革命的研究書。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:3./ 260p
978-4-16-391679-8

¥2,420 [税込]



なぜ少子化は止められないのか(日経プレミアシリーズ 495)

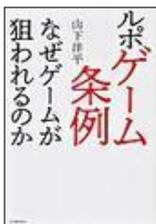
藤波 匠 著
日経B P社

なぜ少子化は止まらないのか。どのような手を打てばよいのか。若者の意識の変化や経済環境の悪化、現金給付の効果など、人口問題の専門家が様々なデータを基に分析、会話形式でわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:5./ 265p
978-4-296-11762-8

¥990 [税込]



ルポ、ゲーム なぜゲームが狙われるのか

山下 洋平 著
河出書房新社

ゲームは1日60分まで!?香川県議会で採択された、全国初の「ゲーム条例」は、いかにして成立したか。疑惑のパブコメ、不透明な制定過程…。地方放送局の記者が、粘り強い取材で真相に迫る。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:4./ 249p
978-4-309-23126-6

¥1,892 [税込]



利己的な遺伝子 40周年記念版

リチャード・ドーキンス、日高 敏隆 著
紀伊國屋書店出版部

全ての生物は、遺伝子を運ぶための生存機械だ。動物や人間の社会で見られる親子間の対立やなわばり行動などがなぜ進化したかを遺伝子の視点から解明する。現代自然科学の古典的名著。「40周年記念版へのあとがき」を追加。

日本経済新聞 2023/06/03

2018:2./ 581p
978-4-314-01153-2

¥2,970 [税込]





真理の探究～仏教と宇宙物理学の対話～(幻冬舎新書 お-13-3)

佐々木 閑、大栗 博司 著
幻冬舎

仏教と近代科学、両者が到達したのは「生きることに意味はない」という結論だった。そんな世界で人はどうしたら絶望せずに生きられるのか。なぜ物事を正しく見る必要があるのか。当代一流の知性による白熱の対話。

日本経済新聞 2023/06/03

2016:11./ 257p
978-4-344-98439-4

¥924〔税込〕



小学生がたった1日で19×19までかんぺきに暗算できる本

小杉拓也 著
ダイヤモンド社

19×19=□?すぐに答えられますか?この1冊で、小学生がたった1日で19×19までの暗算がパッと答えられるようになる!

日本経済新聞 2023/06/03

2022:12./ 94p
978-4-478-11656-2

¥1,100〔税込〕



飲んだら、酔うたら(だいわ文庫 473-1D)

椎名 誠 著
大和書房

ビールが好きだ。いやウイスキーも欠かせない。ワインだっていいじゃないか。ラムもサトウキビ畑のなかでザワワザワワと飲んだらたまらないぜ…。椎名誠の全編酒まみれエッセイ集。イラストや写真もたっぷり収録する。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:4./ 251p
978-4-479-32050-0

¥880〔税込〕



金正恩の核兵器～北朝鮮のミサイル戦略と日本～(ちくま新書 1718)

井上 智太郎 著
筑摩書房

北朝鮮の核開発の舞台裏とは。繰り返されるミサイル発射の挑発の意図とは。すぐ隣に誕生した新興核保有国の虚実交えた生き残り戦略を読み解き、核兵器使用をいかに封じていくか考察する。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:4./ 318p
978-4-480-07548-2

¥1,034〔税込〕



科学と資本主義の未来～<せめぎ合いの時代>を超えて～

広井 良典 著
東洋経済新報社

拡大・成長を志向する「スーパー資本主義」と、持続可能性に軸足を置く「ポスト資本主義」の<せめぎ合い>の行方は? 一貫して「定常型社会=持続可能な福祉社会」を提唱してきた著者が、科学と資本主義の未来を展望する。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:4./ 343p
978-4-492-31547-7

¥2,200〔税込〕





長い物語のためのいくつかの短いお話

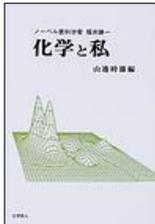
ロジェ・グルニエ 著
白水社

フランスの小説家ロジェ・グルニエが、人生の旨味と苦味と可笑しみを洒落な筆致で描いた、生前最後の短篇集。「ある受刑者」「サンドイッチマン」「記憶喪失」など全13篇を収録する。

日本経済新聞 2023/06/03

2023:3./ 187p
978-4-560-09490-7

¥2,860〔税込〕



化学と私～ノーベル賞科学者福井謙一～

福井 謙一、山辺 時雄 著
化学同人

日本経済新聞 2023/06/03

1999:12./ 253p
978-4-7598-9007-5

¥2,090〔税込〕



この宇宙の片隅に～宇宙の始まりから生命の意味を考える50章～

ショーン・キャロル、松浦 俊輔 著
青土社

私たちはどこにいるのか？ 私たちは誰なのか？ 世界的な理論物理学者が、ダーウィン、アインシュタインから、生命、意識、宇宙の起源までを縦横無尽に語り、この宇宙でわれわれが生きる意味を解き明かす。

日本経済新聞 2023/06/03

2017:11./ 625p,5p
978-4-7917-7020-5

¥3,520〔税込〕



フリーダム～香港人の自由はいかにして奪われたか、それをどう取り戻すか～

羅冠聡（ネイサン・ロー）／方禮倫（エヴァン・ファウラー） 著
季節社

アジアで最もリベラルでオープンだった国際都市は、どういう経緯で根底から変わってしまったのか。雨傘運動の学生リーダーで、デモシスト(香港衆志)元党首の羅冠聡が、時系列に沿って、香港に何が起きたのか伝える。

日本経済新聞 2023/06/03、産経新聞 2023/06/11

2023:4./ 255p
978-4-87369-106-0

¥1,760〔税込〕



教室を生きのびる政治学(犀の教室)

岡田憲治 著
晶文社

心をざわつかせる不平等、友だち関係のうっとうしさ、孤立したくない不安…。教室で起きるゴタゴタには、政治学の知恵が役に立つ！ 学校エピソードから人のうごめきを読みとぎ、社会生活をくぐりぬけていく方法を紹介する。

日本経済新聞 2023/06/03、朝日新聞 2023/06/10

2023:4./ 299p
978-4-7949-7359-7

¥1,870〔税込〕





三島由紀夫論

平野 啓一郎 著
新潮社

「仮面の告白」「金閣寺」など4作品の精読を通して、文学者としての三島由紀夫の創作活動と、「天皇主義者」としての行動とを一元的に論じ、三島の生涯と思想を解明する。『新潮』『群像』『文学界』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/06/03、東京・中日新聞 2023/06/11

2023:4./ 670p
978-4-10-426010-2
¥3,740〔税込〕



世界の食卓から社会が見える

岡根谷 実里 著
大和書房

ヨーグルトは本当にブルガリアの伝統食？牛肉大国ボツワナでなぜ虫を食べる？シリア難民がヨルダンにもたらした食文化とは？世界の家庭で出会った料理を入りに、地理や歴史、宗教、政治などについて語る。

日本経済新聞 2023/06/03、読売新聞 2023/06/11

2023:4./ 311p
978-4-479-39402-0
¥2,090〔税込〕



白鶴亮翅

多和田葉子 著
朝日新聞出版

ベルリンで一人暮らしをする美砂は、隣人 M さんに誘われて太極拳学校へ。ロシア人富豪や英語教師と共に、右腕を力強く上げる技「白鶴亮翅」を習う。そして世界の名作を女性の視点から読み直し…。『朝日新聞』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2023/06/03、毎日新聞 2023/06/24

2023:5./ 276p
978-4-02-251904-7
¥1,980〔税込〕



正しく生きる～ケースデンキ創業者・加藤馨の生涯～

立石 泰則 著
岩波書店

妻と2人で始めたラジオ修理店を、全国有数の家電量販店に育て上げたケースデンキ創業者・加藤馨。「会社はそこで働く全員のもの」とする彼の経営哲学はどのようにして生まれたのか。その人生を戦後家電流通史とともに描く。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 15p,439p
978-4-00-061493-1
¥2,530〔税込〕



クラシックカー屋一代記(集英社新書 1158)

金子 浩久 編
涌井 清春 著
集英社

日本一のクラシックカーコレクターで販売も行う涌井清春が、自動車の歴史、クラシックカーの存在意義、一台を大事に乗り継ぐ生き方、顔の見える商いへのこだわりを語る。ワクイミュージアムホームページ掲載を加筆・修正。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 236p
978-4-08-721258-7
¥1,144〔税込〕





エレクトリック

千葉 雅也 著
新潮社

1995年、宇都宮。高2の達也は東京に憧れ、父は自宅でアンプ製作に腐心する。父の指示で黎明期のインターネットにいち早く接続した達也は、ゲイのコミュニティの存在を知り、接触を試みる。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:5./ 164p
978-4-10-352973-6

¥1,650〔税込〕



9 784103 529736



帝国図書館～近代日本の「知」の物語～(中公新書 2749)

長尾宗典 著
中央公論新社

国家の「知」を支えるべく政府によって設立された帝国図書館。「東洋一」の図書館を目指すも、予算不足に悩まされ続けた。その前身の書籍館から、国立国会図書館へ統合されるまでの80年の歴史を活写する。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:4./ 4p,283p
978-4-12-102749-8

¥1,012〔税込〕



9 784121 027498



インドの正体～「未来の大国」の虚と実～(中公新書ラクレ 793)

伊藤融 著
中央公論新社

ロシアと西側との間でふらつき、カーストなど人権を侵害し、自由を弾圧する国を信用してよいのか？インドの陰の部分にメスを入れつつ、キレイ事抜きの実像を検証し、「厄介な国」との付き合い方を前提から問い直す。

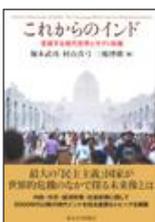
日本経済新聞 2023/06/10

2023:4./ 206p
978-4-12-150793-8

¥902〔税込〕



9 784121 507938



これからのインド～変貌する現代世界とモディ政権～

堀本 武功／村山 真弓／三輪 博樹 編
東京大学出版会

最大の「民主主義」国家が、世界的危機のなかで探る未来像とは。現代インドがモディ政権のもと、どのように変貌しつつあるのか、政治・経済、国際関係と社会の実態を明らかにする。

日本経済新聞 2023/06/10

2021:3./ 6p,358p,7p
978-4-13-033082-4

¥4,180〔税込〕



9 784130 330824



第三の大国インドの思考～激突する「一带一路」と「インド太平洋」～(文春新書 1401)

笠井 亮平 著
文藝春秋

大国として存在感を増すインドは何を考え、どこへ向かうのか。インドと中国との関わり、「一带一路」と「自由で開かれたインド太平洋」への対応などを説明し、「第三の大国」の座をうかがうインドの思考と戦略を解き明かす。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 267p
978-4-16-661401-1

¥1,100〔税込〕



9 784166 661401



半導体超進化論～世界を制する技術の未来～(日経プレミアシリーズ 496)

黒田 忠広 著
日経BP社

この30年間に世界の半導体は高度成長を続けたのに、1988年に50%あった日本企業の世界シェアは10%まで落ち込んだ。日本は何をすべきなのか。激変する半導体の世界と、日本に必要な戦略を明かす。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:5./ 244p
978-4-296-11781-9

¥1,100 [税込]



五月 その他の短篇

アリ・スミス 著
河出書房新社

近所の木に身も世もなく恋をする「五月」、地下鉄駅構内で死神とすれちがう「生きるということ」など、全12篇を収録する短篇集。どこにでもいそうな愛すべき人々の、どこにもなさそうな12か月の物語を描く。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 206p
978-4-309-20877-0

¥2,200 [税込]



奇奇怪怪明解事典

TaiTan (Dos Monos)、玉置周啓 (MONO NO AWARE) 著
国書刊行会

日常を薄く支配する怪奇現象、カルチャーと現代社会の森羅万象から、人間世界を織りなす言葉そのものへ。TaiTanと玉置周啓がゆく、あてどなくはてしない対話の旅。Spotifyの人気ポッドキャスト番組を書籍化。

日本経済新聞 2023/06/10

2022:2./ 539p
978-4-336-07260-3

¥4,180 [税込]



『ゼクシィ』のメディア史～花嫁たちのプラットフォーム～

彭 永成 著
創元社

結婚情報誌『ゼクシィ』はいかにして「結婚のバイブル」となったのか。『ゼクシィ』にまつわる数々の神話を通してプラットフォーム型雑誌の特異性を分析する、メディア史研究。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 335p 図版7
枚

978-4-422-21021-6

¥3,850 [税込]



日本政教関係史～宗教と政治の一五〇年～(筑摩選書 0254)

小川原 正道 著
筑摩書房

日本の宗教行政、政策史を概観。キリスト教公認問題、内村鑑三不敬事件、戦争と宗教、靖国問題など重要なトピックをその中に位置づけ、政教関係の全体像を照射する。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:4./ 294p,6p
978-4-480-01772-7

¥1,870 [税込]





人口減少時代の農業と食(ちくま新書 1729)

窪田 新之助、山口 亮子 著
筑摩書房

人口減少で日本の農業はようになるか。農業の現状と将来展望を、図表を交えてわかりやすく紹介し、物流、規模拡大、労働力不足といったテーマごとに、現状と、将来の人口減少を見据えた対策を示す。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:5./ 293p
978-4-480-07554-3

¥1,012〔税込〕



インド外交の流儀～先行き不透明な世界に向けた戦略～

S・ジャイシャンカル 著
白水社

不透明さを増しつつある世界において、インド外交が注目されている。インド外交の役割から今後の展開に至るまで、現役の外相が「インドならではの手法」の手の内を明かし、米中日を中心に変貌著しい国際関係の見取図を示す。

日本経済新聞 2023/06/10

2022:11./ 252p,25p
978-4-560-09470-9

¥3,630〔税込〕



新興大国インドの行動原理～独自リアリズム外交のゆくえ～

伊藤 融 著
慶應義塾大学出版会

日本にとって「重要だが理解できない国」インド。中国が存在感を増すなかで、アジアの新たな大国の、外交の見えざる行動様式をあぶりだす。インドの具体的外交政策も検討。

日本経済新聞 2023/06/10

2020:9./ 3p,225p,26p
978-4-7664-2695-3

¥2,640〔税込〕



「中国」という捏造～歴史・民族・領土・領海はいかにして創り上げられたか～

ビル・ヘイトン 著
草思社

中国が5000年間ずっと統一国家であり統一国民であったという神話の虚構性を検証。「中国(チャイナ)」という国名と概念の導入をはじめ、歴史、民族、言語、領土などの創造過程を、詳細な資料をもとに明らかにする。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:3./ 419p
978-4-7942-2610-5

¥3,520〔税込〕



ゴースト・ワーク～グローバルな新下層階級をシリコンバレーが生み出すのをどう食い止めるか～

メアリー・L・グレイ/シッダールタ・スリ 著
晶文社

大企業が提供する自動化されたサービスの裏側に潜む、数えきれない「見えない労働者」の存在と実情とは。文化人類学者とコンピューター社会学者が、新しい局面へと突入した「労働」の変化をリアルに伝える。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:4./ 443p
978-4-7949-7348-1

¥2,420〔税込〕





NHK ラジオ深夜便絶望名言 文庫版

頭木弘樹/NHK〈ラジオ 深夜便〉制作班/根田知世己/川野一字 著
飛鳥新社

「あきらめとは、なんて悲しい隠れ家だろう」文豪・偉人たちの「絶望に寄り添う言葉」から生きるヒントを探す。NHK ラジオ深夜便の人気コーナーの第1～12回を完全収録。ブックガイドも掲載する。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:4./ 475p
978-4-86410-952-9

¥950〔税込〕



OVER THE SUN 公式互助会本

TBS Podcast「ジェーン・スーと堀井美香の『OVER THE SUN』」produced by TBS
ラジオ 編

左右社

ジェーン・スーと堀井美香によるTBSの人気ポッドキャスト番組「OVER THE SUN」の公式ファンブック。神回傑作選、ロングインタビュー、名言集、年表などを収録。2人が作った楽曲「希望のスンス」の歌詞も掲載。

日本経済新聞 2023/06/10

2022:12./ 315p
978-4-86528-341-9

¥2,200〔税込〕



「春の小川」はなぜ消えたか〜渋谷川にみる都市河川の歴史〜(フィールド・スタディ文庫 6)

田原 光泰 著

之潮

今に残された川の痕跡や、地図・図面等にみられる流路の相違などをもとに、人々が環境の変化に応じて、川にどのように手を加えてきたのか、という視点から、渋谷川とその支流の歴史をたどる。折りたたみ地図付き。

日本経済新聞 2023/06/10

2011:5./ 226p
978-4-902695-13-7

¥1,980〔税込〕



贈与をめぐる冒険〜新しい社会をつくるには〜

岩野卓司 著

ヘウレーカ

贈与の考え方を現代社会に活かすことによって、資本主義を「変質」させ、人と人を結び直し、自然と人間との関係を問い直すことはできるのか。贈与をテーマに、新しい社会をつくるための手がかりを探る。

日本経済新聞 2023/06/10

2023:5./ 180p
978-4-909753-16-8

¥2,090〔税込〕



ホントのコイズミさん〜YOUTH〜

小泉 今日子 著

303 BOOKS

小泉今日子が、松浦弥太郎、江國香織など本や本に関わる人たちと語りいながら、新たな扉を開くヒントになる言葉を探す。Podcast『ホントのコイズミさん』の内容を加筆訂正、再構成し書籍化。

日本経済新聞 2023/06/10

2022:12./ 157p
978-4-909926-19-7

¥1,650〔税込〕





日本エッセイ小史～人はなぜエッセイを書くのか～

酒井 順子 著
講談社

「昭和軽薄体」のブーム、芸能人エッセイの人気、高齢者エッセイの百花繚乱ぶり...。時代を彩った 160 余作品をひもときながら、エッセイストがエッセイについて縦横無尽に語り尽くす。『小説現代』連載を改題、再構成。

日本経済新聞 2023/06/10、産経新聞 2023/06/25

2023:4./ 223p
978-4-06-531006-9

¥1,760〔税込〕



権力

橋爪 大三郎 著
岩波書店

社会の根本的なテーマなのに、実に論じにくく、理論も存在しなかった「権力」。なぜ、社会科学は権力を説明できなかったのか。ホブズ、ヴェーバー、ヴィトゲンシュタインを踏み台に、言語ゲームから権力を考え尽くす。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:4./ 11p,305p
978-4-00-061591-4

¥3,190〔税込〕



天佑なり～高橋是清・百年前の日本国債～<上>(角川文庫 こ 24-6)

幸田 真音 著
KADOKAWA

横浜で英会話を学び、12歳で渡米。帰国後は官・民で様々な職に就く。転職と失敗を繰り返しつつも、現場からの視点を失わないその姿勢は、一流の財政センスへと結実してゆく...。日本経済を救った男・高橋是清の人生を描く。

日本経済新聞 2023/06/17

2015:7./ 414p
978-4-04-103171-1

¥704〔税込〕



天佑なり～高橋是清・百年前の日本国債～<下>(角川文庫 こ 24-7)

幸田 真音 著
KADOKAWA

銀行家として踏み出した是清は、日露戦争の戦費調達という使命を帯び、日本国債の売り出しを成功させる。以後、危機のたびに手腕を振るうが、二・二六事件の凶弾に倒れ...。不世出の財政家・高橋是清の波瀾の生涯に迫る。

日本経済新聞 2023/06/17

2015:7./ 427p
978-4-04-103172-8

¥704〔税込〕



沈まぬ太陽<1> アフリカ篇(上)(新潮文庫)

山崎 豊子 著
新潮社

日本経済新聞 2023/06/17

2001:11./ 409p
978-4-10-110426-3

¥781〔税込〕





関東大震災がつくった東京～首都直下地震へどう備えるか～(中公選書 137)

武村雅之 著
中央公論新社

1923年、東京は関東大震災により、地震規模に対して著しく大きい被害を被った。被害を拡大させた要因は何か。江戸の発展と震災後の帝都復興をたどり、現在の東京が抱えるさまざまな問題を指摘し、都市の在り方を考える。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 245p
978-4-12-110138-9

¥1,980〔税込〕



9 784121 101389



事務次官という謎～霞が関の出世と人事～(中公新書ラクレ 794)

岸宣仁 著
中央公論新社

事務次官の短命化、省庁幹部の政治家への忖度、ブラックな労働環境、志望者減、若手の退職者増…。「事務次官」のポストに焦点をあて、異変が広がる官界を徹底検証する。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 270p
978-4-12-150794-5

¥1,012〔税込〕



9 784121 507945



無限角形～1001の砂漠の断章～

コラム・マッキャン 著
早川書房

限りなく円に近く、決して円ではない多角形、無限角形。娘を失ったイスラエル人の父とパレスチナ人の父が出会った時、深い哀しみが平和への武器となる。実話をもとに、1001の断章で築かれた喪失と平和へのモニュメント。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:4./ 685p
978-4-15-210230-0

¥4,620〔税込〕



9 784152 102300



藩邸差配役日日控

砂原 浩太郎 著
文藝春秋

江戸藩邸のなんでも屋と揶揄される差配役・里村五郎兵衛のもとには日々、大小問わず厄介事が持ち込まれる。そんななか、若君が消えたとの報が。すぐさま探索に向かおうとする里村だったが…。『オール讀物』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:4./ 250p
978-4-16-391689-7

¥1,925〔税込〕



9 784163 916897



指導者とは(文春学藝ライブラリー)

リチャード・ニクソン 著
文藝春秋

チャーチル、ドゴール、マッカーサー、吉田茂…。第二次大戦後の時代を率いた世界の指導者たちの素顔とは？権力の栄光と挫折を知り尽くした米大統領だから書けた、20世紀リーダー論。

日本経済新聞 2023/06/17

2013:12./ 473p
978-4-16-813009-0

¥1,826〔税込〕



9 784168 130090



アメリカ大都市の死と生 新版

ジェイン・ジェイコブズ 著

鹿島出版会

近代都市計画への強烈な批判、都市の多様性の魅力、都市とは複雑に結びついている有機体である…。1961年に刊行され、世界を変えた都市論のバイブルを全訳。

日本経済新聞 2023/06/17

2010:4./ 501p
978-4-306-07274-9

¥3,630〔税込〕



富士日記の人びと～武田百合子を探して～

校条 剛 著

河出書房新社

武田百合子が山梨県・富士桜高原別荘地での日々を綴った「富士日記」。武田泰淳・百合子・花一家が暮らした「武田山荘」跡の近くにセカンドハウスを所有する著者が、綿密な取材を重ね、「富士日記」の新たな魅力に迫る。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 220p
978-4-309-03104-0

¥1,980〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカではそばそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/06/17

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2

¥2,090〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

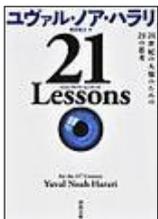
河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/06/17

2016:9./ 294p
978-4-309-22672-9

¥2,090〔税込〕



21 Lessons～21世紀の人類のための21の思考～(河出文庫 ハ15-1)

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している21の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

日本経済新聞 2023/06/17

2021:11./ 573p
978-4-309-46745-0

¥1,320〔税込〕





ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>(河出文庫 ハ 15-2)

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

日本経済新聞 2023/06/17

2022:9./ 357p
978-4-309-46758-0

¥990〔税込〕



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<下>(河出文庫 ハ 15-3)

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

日本経済新聞 2023/06/17

2022:9./ 381p
978-4-309-46759-7

¥990〔税込〕



中世への旅騎士と城

ハインリヒ・プレティヒャ 著

白水社

騎士たちの日常生活、城での生活、食物と衣服、日々の仕事と娯楽、合戦と攻城、十字軍遠征などを生き生きと描き出す。1982年刊の新装復刊。

日本経済新聞 2023/06/17

2002:9./ 252p
978-4-560-02840-7

¥2,640〔税込〕



中世への旅都市と庶民

ハインリヒ・プレティヒャ 著

白水社

騎士階級の没落の後に文化の担い手となったのは都市市民であった。中世都市および農村の人々の生活の実態を活写する。1982年刊の新装復刊。

日本経済新聞 2023/06/17

2002:9./ 256p
978-4-560-02841-4

¥2,640〔税込〕



中世への旅 農民戦争と傭兵(白水Uボックス)

ハインリヒ・プレティヒャ 著

白水社

中世から近代への大転換期、騎士はすでに没落し、代わって各種の傭兵が台頭した。彼らとその舞台となった農民戦争、三十年戦争を描く。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 242p
978-4-560-72136-0

¥1,980〔税込〕





日本の水商売～法哲学者、夜の街を歩く～

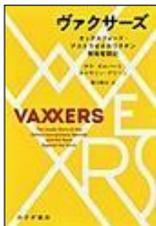
谷口 功一 著
P H P 研究所

すすきの、弘前、銀座、甲府、浜松、小倉、別府…。2021年10月から2022年12月までの1年余り、コロナ禍の夜の街をめぐり歩いた法哲学者が、そこで営まれる水商売の姿を描き出す。『Voice』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:4./ 221p
978-4-569-85445-8

¥1,760〔税込〕



ヴァクサーズ～オックスフォード・アストラゼネカワクチン開発奮闘記～

サラ・ギルバート／キャサリン・グリーン 著
みすず書房

大学の片隅で設計されたワクチンは、いかにして170カ国以上に届けられたのか。オックスフォード・アストラゼネカワクチンの完成に至るまでの経緯を開発者本人の目線で赤裸々に綴る。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 8p,330p,33p
978-4-622-09553-8

¥3,960〔税込〕



人間がいなくなった後の自然

カル・フリン 著
草思社

人間が争い、収奪し、汚染しつくし見捨てられた土地では、リセットされた大地で自然が新しい環境として遷移し、地球上のほかのどのエリアとも異なる豊かな生態系を育てていた。さまざまな荒廃地域を訪れ、新たな自然像を描く。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 399p 図版 16p
978-4-7942-2647-1

¥3,740〔税込〕



樹盗～森は誰のものか～

リンジー・ブルゴン 著
築地書館

原生林で盗伐事件に出会った著者が、違法木材市場の深い闇を暴く。環境保護・地域社会・文化の絡みを深掘りし、陰謀、犯罪、森林の内部に隠された真実に迫る。北米で出版されるや、大きな反響を呼んだ異色の環境レポート。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 14p,264p,35p
978-4-8067-1651-8

¥2,970〔税込〕



貞観政要～リーダーシップの要諦～(Contemporary Classics 今こそ名著)

呉兢 著
日本能率協会マネジメントセンター

政治のあるべき姿はどのようなものかについて、唐の二代皇帝・太宗と臣下たちとの間に交わされた対話集「貞観政要」。ビジネス界でも連続と読み継がれてきた名著の現代日本語抄訳を収録する。

日本経済新聞 2023/06/17

2020:12./ 309p
978-4-8207-2863-4

¥1,760〔税込〕





食の歴史～人類はこれまで何を食べてきたのか～

ジャック・アタリ 著
プレジデント社

食の歴史と未来を知れば、政治、社会、テクノロジー、地政学、イデオロギー、文化、快樂等も一挙にわかる。ヨーロッパを代表する知識人、ジャック・アタリが、人間の食のあり方に関する過去と未来を論じる。

日本経済新聞 2023/06/17

2020:2./ 358p,29p
978-4-8334-2361-8

¥2,970〔税込〕



バウハウス-モダン・デザインの源流

竹原 あき子 著
緑風出版

第一次世界大戦の敗戦国ドイツの廃墟から、忽然と立ち上がった工芸美術学校、バウハウス。モダン・デザインの思想と教育指針を世界に蒔き、現代デザインに影響を与え続けたバウハウス 100 年の軌跡を追う。

日本経済新聞 2023/06/17

2023:5./ 329p
978-4-8461-2303-1

¥3,080〔税込〕



硫黄島に眠る戦没者～見捨てられた兵士たちの戦後史～

栗原 俊雄 著
岩波書店

アジア・太平洋戦争屈指の激戦地、硫黄島には、兵士や元島民たちの遺骨 1 万体制以上が放置されている。国家によって死地に追いやられた人々が死後もなお見捨てられる日本の「戦後」を問い直す。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:3./ 12p,215p
978-4-00-061587-7

¥2,420〔税込〕



演芸場で会いましょう～本日の高座 その2～

橋 蓮二 著
講談社

桂二葉、春風亭一之輔、柳家三三...。縁あって出会った芸人さんの魅力を伝えるために全力を尽くす。演芸写真家・橋蓮二が、さまざまな芸人が「笑い」を届けようと奮闘する姿を写真と文で切り取る。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 252p
978-4-06-531311-4

¥2,090〔税込〕



時々、慈父になる。

島田 雅彦 著
集英社

1991 年、島田雅彦 30 歳。息子に「ミロク」と名付け、いじめを心配し私立小学校に入れたものの、勉強が苦手な子であることが分かり、やがてアメリカに留学させるが...。自伝的父子小説。『すばる』掲載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:5./ 298p
978-4-08-771834-8

¥2,310〔税込〕





疫病と世界史<上>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著
中央公論新社
日本経済新聞 2023/06/24

2007:12./ 275p
978-4-12-204954-3

¥1,320〔税込〕



疫病と世界史<下>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著
中央公論新社
日本経済新聞 2023/06/24

2007:12./ 301p
978-4-12-204955-0

¥1,320〔税込〕



キツネとわたし〜ふしぎな友情〜

キャサリン・レイヴン 著
早川書房

毎日 16 時 15 分に玄関先に現れる野生のキツネ。今日もわたしは、彼に「星の王子さま」を読み聞かせる。ロッキー山脈の大自然を背景に、生物学者が「友だち」と過ごした驚くべき日々を綴るエッセイ。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 406p
978-4-15-210233-1

¥3,630〔税込〕



将軍の世紀<上巻> パクス・トクガワナを築いた家康の戦略から遊王・家斉の爛熟まで

山内 昌之 著
文藝春秋

270 年続いた江戸幕府とパクス・トクガワナ(徳川の平和)の歴史を描く。上巻は、稀有な軍人政治家・家康の戦略から四代家綱時代の文治政治への転換、十一代家斉の化政時代までを収録。『文藝春秋』等連載に大幅加筆。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 735p
978-4-16-391691-0

¥3,740〔税込〕



将軍の世紀<下巻> 家慶の黒船来航から慶喜の大政奉還までわずか 14 年で徳川の世は瓦解した

山内 昌之 著
文藝春秋

270 年続いた江戸幕府とパクス・トクガワナ(徳川の平和)の歴史を描く。下巻は、十二代家慶の最晩年に起きた黒船来航から、海防と将軍継嗣問題、最後の将軍・慶喜の大政奉還までを収録。『文藝春秋』等連載に大幅加筆。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:4./ 760p
978-4-16-391692-7

¥3,740〔税込〕





百夜～小説小野小町～

高樹のぶ子 著

日経 B P 社

平安時代の「六歌仙」のひとりであり、優れた歌の才に加え、絶世の美女としても数々の伝説が残る小野小町。実作と伝わる和歌を抛り所に、小町伝説に秘められた真実を浮かび上がらせる。『ハルメク』『すばる』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:5./ 381p
978-4-296-11802-1

¥2,420〔税込〕



伝説の編集者坂本一亀とその時代(河出文庫 た 45-1)

田邊 園子 著

河出書房新社

「仮面の告白」「真空地帯」等を生み、戦後文学の黄金期を築いた伝説の編集者「坂本一亀」の軌跡を辿る。作家たちとのエピソードを交えながら戦後文学の豊穡なる時代を描く。

日本経済新聞 2023/06/24

2018:4./ 231p
978-4-309-41600-7

¥913〔税込〕



日本とは何か～日本語の始原の姿を追った国学者たち～

今野真二 著

みすず書房

日本語の始原の姿を突き止めることで「日本の始め」を明らかにしようとした、契沖、真淵、宣長、富士谷御杖の4人の国学者。日本語に対する彼らの観察、分析、考察を江戸期の知の広がりの中に置き直し、その方法を再評価する。

日本経済新聞 2023/06/24

2023:5./ 6p,413p
978-4-622-09597-2

¥5,280〔税込〕



人間の条件<上>(岩波現代文庫 文芸 87)

五味川 純平 著

岩波書店

棉のような雪が静かに舞い降りる宵闇、1943年の満洲で梶と美千子の愛の物語がはじまる。「魂の底揺れる迫力」と評された戦後文学の記念碑的傑作を敗戦60年を機に再び世に贈る。

毎日新聞 2023/06/03

2005:1./ 590p
978-4-00-602087-3

¥1,650〔税込〕



人間の条件<中>(岩波現代文庫 文芸 88)

五味川 純平 著

岩波書店

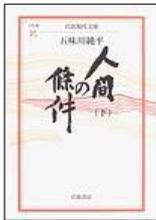
中国人労働者斬首に抗議した梶は憲兵隊に捕われ、召集免除の特典を取り消された。軍隊内の過酷な秩序、初年兵に対する一方的な暴力、病院を出た梶はソ満国境に転戦、蝸壺に立てこもる日本兵にソ連戦車隊の轟音が迫る……

毎日新聞 2023/06/03

2005:2./ 646p
978-4-00-602088-0

¥1,650〔税込〕





人間の条件<下>(岩波現代文庫 文芸 89)

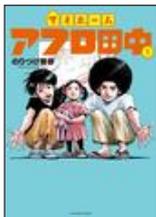
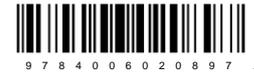
五味川 純平 著
岩波書店

ソ連戦車隊と夥しい歩兵が、国境線を越えた。蝸壺にこもり、迎え撃つ梶たちの中隊は数人を残して壊滅。捕虜となるが脱走し、遮る物とてない曠野を彷徨する梶の上に雪は無心に舞い続ける……

毎日新聞 2023/06/03

2005:3./ 604p
978-4-00-602089-7

¥1,760〔税込〕



マイホームアフロ田中<1>(ビッグコミックス BIG SPIRITS COMICS)

のりつけ 雅春 著
小学館

35歳、妻子持ちとなった田中が35年ローンに挑戦! 新築一戸建てを望むなら... 「まず、オレと結婚した事が間違えている。」 等身大の男による試練と笑いがつまった煩惱大河ドラマ、ここに開幕!

毎日新聞 2023/06/03

2023:2./ 173p
978-4-09-861568-1

¥715〔税込〕



花に埋もれる

彩瀬 まる 著
新潮社

憧れ、執着、およそ恋に似た感情が幻想を呼び起こし、世界の色さえ変えていく。女による女のための R-18 文学賞受賞作「花に眩む」も収録した、ベストアルバムの短編集。

毎日新聞 2023/06/03

2023:3./ 193p
978-4-10-331965-8

¥1,760〔税込〕



からだの美

小川 洋子 著
文藝春秋

イチローの肩、羽生善治の震える中指、ゴリラの背中、高橋大輔の魅惑的な首、貴ノ花のふくらはぎ、赤ん坊の握りこぶし。隠された美を掬い取り、やわらかに照らし出す随筆 16 篇。『文藝春秋』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/06/03

2023:3./ 123p
978-4-16-391669-9

¥1,760〔税込〕



世界を動かした日本の銀(祥伝社新書 675)

磯田 道史、近藤誠一、伊藤謙 ほか 著
祥伝社

石見銀山の銀で日本は最貧国から脱出、中国は経済成長を遂げた。石見銀山を通して人類史を考える。2022年2月開催の講演「世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」-歴史文化資源の探求と活用」をもとに書籍化。

毎日新聞 2023/06/03

2023:5./ 200p
978-4-396-11675-0

¥1,012〔税込〕





創始者たち～イーロン・マスク、ピーター・ティールと世界一のリスクテイカーたちの薄氷の伝説～

ジミー・ソニ 著
ダイヤモンド社

マスクとティールがたまたま隣人になった瞬間、世界を変える伝説が始まった-。次々とシリコンバレーの大物を生んだ「ベイパル」草創期の壮絶な4年間の足跡を追う。

毎日新聞 2023/06/03

2023:5./ 653p
978-4-478-10679-2

¥2,420〔税込〕



9 78 44 78 10 67 9 2



雲は美しいか～和歌と追想の力学～(ブックレット<書物をひらく> 29)

渡部 泰明 著
平凡社

万葉集以来、「雲」は膨大な和歌に詠みこまれてきた。雲のモチーフは多様な美意識を堆積させ、漢文学の伝統とも相まって、生成し、享受される情調の群体を成長させてきた。和歌の、古典の、力動をさぐりあてる、雲の和歌史。

毎日新聞 2023/06/03

2023:3./ 96p
978-4-582-36469-9

¥1,100〔税込〕



9 78 45 82 36 46 9 9



迷えるウクライナ～宗教をめぐるロシアとのもう一つの戦い～(扶桑社新書 466)

高橋沙奈美 著
扶桑社

ウクライナとロシアの絡み合った関係を、キリスト教東方正教を立脚点として解説。西洋のキリスト教とは異なる東方正教会の教えや歴史をも概観することで、日本の報道だけでは知りえない世界の新たなとらえ方を提示する。

毎日新聞 2023/06/03

2023:4./ 287p
978-4-594-09316-7

¥1,100〔税込〕



9 78 45 94 09 31 6 7



科学普及活動家ルイ・フィギエ～万人のための科学、夢としての科学～

槇野佳奈子 著
水声社

19世紀半ば、科学技術を平明に説いた「科学普及活動家」。その第一人者で、写真技術の普及に努めて名声を勝ち得たあと、死後の世界を科学的に説明しようと試みたルイ・フィギエの言説に隠された欲望を炙り出す。

毎日新聞 2023/06/03

2023:3./ 252p
978-4-8010-0710-9

¥3,300〔税込〕



9 78 48 01 00 71 0 9



絶滅危惧昆虫図鑑(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編
アメリカ自然史博物館 著
日経ナショナルジオグラフィック社

絶滅またはその危機にある昆虫40種の超高精細写真図鑑。肉眼では見えない色や質感、毛、鱗粉といった細部を鮮明に再現する。生態、環境の変化、保全活動の現状などについての解説も掲載。

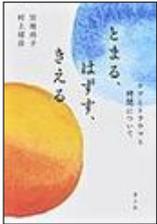
毎日新聞 2023/06/03

2023:4./ 144p
978-4-86313-572-7

¥2,970〔税込〕



9 78 48 63 13 57 2 7



とまる、はずす、きえる〜ケアとトラウマと時間について〜

宮地尚子／村上靖彦 著
青土社

トラウマ研究と、医療・福祉の現象学の第一人者が、具体と抽象を行き来しながら紡ぎ出す、比類なき対談集。「それる」「もどる」「とまる」といった動詞を軸とした対話を収録する。トークイベントなどをもとに書籍化。

毎日新聞 2023/06/03、産経新聞 2023/06/18

2023:4./ 249p
978-4-7917-7549-1

¥2,200〔税込〕



台湾漫遊鉄道のふたり

楊双子 著
中央公論新社

昭和13年、台湾。作家・青山千鶴子は台湾人通訳・王千鶴と出会う。千鶴と台湾縦貫鉄道に乗りこんだ千鶴子は、つぎつぎ台湾の味に魅了されていく。ただ、いつまでも心の奥を見せない千鶴に、千鶴子の焦燥感は募り…。

毎日新聞 2023/06/03、朝日新聞 2023/06/17

2023:4./ 371p
978-4-12-005652-9

¥2,200〔税込〕



井上哲次郎と「国体」の光芒〜官学の覇権と<反官>アカデミズム〜

杉山 亮 著
白水社

「国体」の観念を一般国民に注入する小中学校での修身教育。国体論を生産し、伝播を担った東京帝国大学文学部を中心とする修身教員らのサークル「官学アカデミズム」に長らく君臨した井上哲次郎の思想と活動を明らかにする。

毎日新聞 2023/06/03、朝日新聞 2023/06/17

2023:3./ 307p,17p
978-4-560-09491-4

¥3,960〔税込〕



ボトルシップ〜歌集〜(コスモス叢書 第1221篇)

有川 知津子 著
本阿弥書店

みづうみの底へ梯子を差し掛けて屈折率をはかる神々 目覚めつつ背伸びせりけりサファイアのうすものまふ惑星のあさ 2001年から2021年までの425首を、制作年代順に並べた第1歌集。

毎日新聞 2023/06/05

2023:3./ 180p
978-4-7768-1640-9

¥2,860〔税込〕



ユマニズムの夢〜ペトラルカからエラスムスへ〜

フランシスコ・リコ 著
岩波書店

ヨーロッパ文化史に深い足跡を残すユマニズムとはいかなる思想運動だったのか。ペトラルカからエラスムス、さらに新世界にまで及ぶ、個性豊かな文人たちの思索に沿って追跡し、ルネサンス精神史への斬新な視角を拓く。

毎日新聞 2023/06/10

2023:3./ 7p,223p,12p
978-4-00-025433-5

¥3,300〔税込〕





江戸の岡場所～非合法<隠売女>の世界～(星海社新書 255)

渡辺 憲司 著

星海社

湯女、茶屋女、飯盛女、夜鷹…。江戸市中に数十箇所を数えた非合法私娼街「岡場所」に蠢く下級遊女たちの実像とは？江戸遊女研究の第一人者が、洒落本や絵画などの史料を基に、知られざる岡場所の女性たちの実態を解明する。

毎日新聞 2023/06/10

2023:3./ 302p
978-4-06-531281-0

¥1,540〔税込〕



憲法なんて知らないよ(集英社文庫)

池沢 夏樹 著

集英社

池澤訳日本国憲法で考える自衛隊イラク派遣。日本に住む人々が幸福に生きられるように決めた「国の設計図」。それが憲法。日常の言葉に訳したその理念を読めば、自衛隊のイラク派遣は間違いだとはっきりわかってくる。

毎日新聞 2023/06/10

2005:4./ 213p
978-4-08-747814-3

¥528〔税込〕



池上彰の「世界そこからですか!？」～ニュースがわかる戦争・国家の核心解説 43～

池上 彰 著

文藝春秋

ウクライナ侵攻後の世界、“不思議の国”アメリカ、習近平の中国など、ニュースの謎を“そもそも解説”で解く。小泉悠、マイケル・サンデル、柄谷行人との対談も収録。『週刊文春』『文春オンライン』掲載を大幅に加筆修正。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 270p
978-4-16-391702-3

¥1,760〔税込〕



デミーンの自殺者たち～独ソ戦末期にドイツ北部の町で起きた悲劇～

エマニュエル・ドロア 著

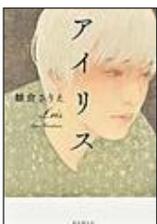
人文書院

1945年5月初め、ソ連兵の暴力を恐れたドイツ北西部の小さな町は、ドイツ史上最大規模の集団自殺の舞台になった。虐待、強姦、放火…なぜ戦時暴力は起こるのか。語られなかった戦争の悲劇を丹念に追う。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 192p
978-4-409-51098-8

¥3,080〔税込〕



アイリス

雛倉 さりえ 著

東京創元社

映画「アイリス」に子役として出演し、脚光を浴びた瞳介は、その後成功できずに芸能界をやめた。監督の漆谷も、数々の賞を受賞するも「アイリス」を超えられないという葛藤を抱え…。人生の絶頂の、そのむこうの物語。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 254p
978-4-488-02893-0

¥1,760〔税込〕





たまたま生まれてフィメール

小川 たまか 著
平凡社

結婚と夫婦別姓、政治とジェンダー、透明化される性犯罪被害者の声…。この国で生きる女性やマイノリティが直面する困難を問い直す、フェミニズム・エッセイ。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 197p
978-4-582-83923-4

¥1,980〔税込〕



開かれたかご〜マーシャル諸島の浜辺から〜

キャシー・ジェットニル=キジナー 著
みすず書房

気候変動の影響を世界でもっとも受けている国のひとつ、マーシャル諸島。若き活動家が、母であり娘でもある自らの生、常に大国に翻弄されてきた祖国の歴史、国土をむしばむ温暖化などをテーマに綴った詩全 28 篇を収録する。

毎日新聞 2023/06/10

2023:3./ 204p
978-4-622-09589-7

¥2,970〔税込〕



依存症と人類〜われわれはアルコール・薬物と共存できるのか〜

カール・エリック・フィッシャー 著
みすず書房

依存症は「病気」なのか？ それとも差別や疎外に苦しむ者に刻印されたスティグマなのか？ アルコール依存症から回復した精神科医が、依存性薬物と人類の 3000 年の攻防の歴史を圧倒的な筆力で描く。

毎日新聞 2023/06/10

2023:4./ 13p,344p,83p
978-4-622-09602-3

¥4,950〔税込〕



アナーキズム〜政治思想史的考察〜

森政稔 著
作品社

近年の民主主義への鋭利な分析で注目されている論者が、長年取り組んできた研究の成果を集成。政治思想や政治理論のなかで「アナーキズム的モーメント」が果たしてきた役割を、学問的に明らかにする。

毎日新聞 2023/06/10

2023:3./ 321p,4p
978-4-86182-706-8

¥2,970〔税込〕



覚醒せよ、セイレーン

ニナ・マグロクリン、小澤 身和子 著
左右社

友人を捜す歌声に男たちが聞き惚れてしまったセイレーン、「完璧な」象牙の彫像から人間になっていくアイボリー・ガール。ラテン語文学の最高峰「変身物語」で語られなかった女たちのストーリーを綴る。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 365p
978-4-86528-367-9

¥3,300〔税込〕





49冊のアンアン

椎根和 著

フリースタイル

1970年、堀内誠一が編集長以上の権限を持つ日本初のアートディレクター制の雑誌として生まれた特別な49冊の『アンアン』。『オリーブ』などの創刊編集長を務めた著者が、若き日の自らが携わったこの雑誌について語る。

毎日新聞 2023/06/10

2023:3./ 285p 図版 16p

978-4-86731-005-2

¥2,200〔税込〕



9 784867 310052



国籍と遺書、兄への手紙〜ルーツを巡る旅の先に〜

安田菜津紀 著

ヘウレーカ

父は在日コリアン2世だった。父の死後に知ったその事実、アイデンティティは大きく揺れ動く。自分はいったい何人なのだろう。父はなぜ語らなかったのだろう。フォトジャーナリストがつづる、自身のルーツをめぐる物語。

毎日新聞 2023/06/10

2023:5./ 215p

978-4-909753-15-1

¥2,090〔税込〕



9 784909 753151



野の果て〜自選随筆集〜

志村 ふくみ 著

岩波書店

染織家・随筆家として独自の境地を切り拓いてきた志村ふくみ。これまで綴ってきた数多くの随筆の中から特に大切にしている53本を自選し、「私」「仕事」「思想」の3本柱で再構成。志村ふくみの遙かな歩みを一望する随筆集。

毎日新聞 2023/06/17

2023:5./ 336p

978-4-00-001827-2

¥3,300〔税込〕



9 784000 018272



越境を生きる〜ベネディクト・アンダーソン回想録〜(岩波現代文庫 学術464)

ベネディクト・アンダーソン 著

岩波書店

学問で重要なのは、大学の制度や母国といった「ヤシガラ椀」の外に出ることだ。学問とは何か、研究では何が大切かを、自らの地域研究、比較研究の軌跡と学問的制度の変遷を振り返りつつ、日本の若い読者に向けて綴る。

毎日新聞 2023/06/17

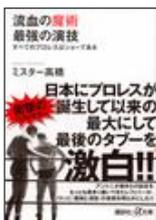
2023:4./ 21p,347p,11p

978-4-00-600464-4

¥1,837〔税込〕



9 784006 004644



流血の魔術最強の演技〜すべてのプロレスはショーである〜(講談社+α文庫)

ミスター 高橋 著

講談社

新日本プロレスのレフェリーとして、アントニオ猪木、坂口征二、藤波辰爾、長州力らの試合をもっとも数多く裁いてきた男が、プロレスを愛するがゆえに、ついに「魔術と演技」の真実を明らかにした!!日本にプロレスが誕生して以来の最大にして最後のタブーを激白!!

毎日新聞 2023/06/17

2003:5./ 252p

978-4-06-256736-7

¥748〔税込〕



9 784062 567367



資本主義の本質について～イノベーションと余剰経済～(講談社学術文庫 2769)

コルナイ ヤーノシュ 著

講談社

社会主義研究の泰斗であるハンガリー人経済学者コルナイによる資本主義研究序説。資本主義の本質を、「イノベーション」と「余剰経済」とし、社会主義経済と比較しながら、資本主義システムの相対的な優位性を説く。

毎日新聞 2023/06/17

2023:5./ 417p
978-4-06-530784-7

¥1,551〔税込〕



9 78 40 65 30 78 47



アントニオ猪木自伝(新潮文庫)

猪木 寛至 著

新潮社

毎日新聞 2023/06/17

2000:2./ 365p

978-4-10-129721-7

¥565〔税込〕



9 78 41 01 29 72 17



高倉健、最後の季節。

小田 貴月 著

文藝春秋

2014年、悪性リンパ腫が発覚した高倉健。孤高の映画俳優は、それでも仕事への情熱が尽きることはなかった。17年の時を共にしたパートナーが、高倉健の最後の1年を綴る。

毎日新聞 2023/06/17

2023:3./ 209p

978-4-16-391670-5

¥1,650〔税込〕



9 78 41 63 91 67 05



師匠はつらいよ～藤井聡太のいる日常～

杉本 昌隆 著

文藝春秋

将棋界を席巻する天才・藤井聡太。その師匠である著者が、強すぎる弟子と将棋の喜びをユーモラスに綴ったエッセー集。先崎学との対談も収録する。『週刊文春』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/06/17

2023:6./ 263p

978-4-16-391707-8

¥1,760〔税込〕



9 78 41 63 91 70 78



完本 1976年のアントニオ猪木(文春文庫)

柳澤 健 著

文芸春秋

ルスカ戦、アリ戦、パク戦、ペールワン戦。1976年の異種格闘技戦の当事者を世界に訪ね、編み上げた著者渾身の力作の完全版!

毎日新聞 2023/06/17

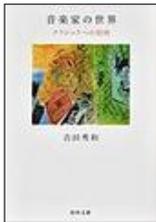
2009:3./ 493p

978-4-16-775365-8

¥1,012〔税込〕



9 78 41 67 75 36 58



音楽家の世界〜クラシックへの招待〜(河出文庫 よ 11-12)

吉田 秀和 著
河出書房新社

クラシックの魅力を優しく深く伝える入門書。クーペラン「クラヴサン組曲」からショスタコーヴィチ「交響曲第5番」まで、53人66曲を取りあげる。渡辺和彦による解説も収録。

毎日新聞 2023/06/17

2023:5./ 247p
978-4-309-41962-6

¥1,078〔税込〕



三省堂国語辞典から消えたことば辞典

見坊 行徳／三省堂編修所 著
三省堂

歴代の「三省堂国語辞典」とその前身「明解国語辞典」から削除された1000項目をピックアップし、当時の紙面のまま拡大して収録。全項目に脚注を付し、「コギャル」「メインイベント」など15項目は時代背景を解説。

毎日新聞 2023/06/17

2023:4./ 240p,16p
978-4-385-36624-1

¥2,090〔税込〕



ぞうのこバナ(世界文化社のワンダー絵本)

まど・みちお 著
世界文化社

竜巻に巻き込まれ、ママとはぐれた子ぞうのバナ。ありと一緒にママを探す旅に出かけ…。バナの勇気と周囲の助けによって次々に困難を乗り越えていく姿に心励まされるお話。「ぞうさん」などの童謡も収録する。

毎日新聞 2023/06/17

2023:4./ 1冊(ページ付なし)

978-4-418-23827-9

¥1,760〔税込〕



写真が語る銃後の暮らし(ちくま新書 1732)

太平洋戦争研究会 著
筑摩書房

モボモガのブーム、満州事変、日中戦争、日米開戦、原爆投下、玉音放送、引揚・復員、占領…。80年前、歓喜から絶望へと突き進んだ15年にわたる人々の暮らしを、当時の貴重な写真約350点で振り返る。

毎日新聞 2023/06/17

2023:6./ 347p
978-4-480-07558-1

¥1,430〔税込〕



怒られの作法〜日本一トラブルに巻き込まれる編集者の人間関係術〜

草下 シンヤ 著
筑摩書房

クレーム、炎上、人付き合い…揉め事ぜんぶ平気になる! 裏社会を渡り歩いてきた作家・編集者が、自分が怒られているのに、まるで他人事のように相手の怒りを受け流す、究極の「他人と向き合う技術」を明かす。

毎日新聞 2023/06/17

2023:4./ 236p
978-4-480-81689-4

¥1,650〔税込〕





俺ではない炎上

浅倉秋成 著
双葉社

ある日突然、SNSで「女子大生殺害犯」に仕立てられた住宅会社営業部長の泰介。ほんの数時間にして日本中の人間が敵となり、必死の逃亡を続ける泰介が辿り着いた驚くべき真相とは…。書き下ろしミステリー。

毎日新聞 2023/06/17

2022:5./ 363p
978-4-575-24519-6

¥1,815 [税込]



9 78 4 5 7 5 2 4 5 1 9 6



集団予防接種による B 型肝炎感染被害の真相(世界人権問題叢書 110)

全国 B 型肝炎訴訟原告団・弁護団『集団予防接種による B 型肝炎感染被害の真相』
編集委員会 編

明石書店

当時の医学知見で感染を防ぐことはできなかったのか。なぜ、これほど被害が拡大したのか。集団予防接種による B 型肝炎感染被害の真相とそこから得られる教訓を、被害者団体の立場からまとめる。

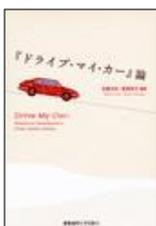
毎日新聞 2023/06/17

2023:3./ 469p
978-4-7503-5534-4

¥3,300 [税込]



9 78 4 7 5 0 3 5 5 3 4 4



『ドライブ・マイ・カー』論

佐藤 元状／冨塚 亮平 著
慶應義塾大学出版会

なぜ世界は「ドライブ・マイ・カー」に熱狂したのか？ アメリカ、日本、香港、台湾、韓国の研究者が徹底分析。濱口竜介監督への特別インタビューも収録。2022年6月開催の国際シンポジウムの記録。

毎日新聞 2023/06/17

2023:4./ 4p,243p
978-4-7664-2881-0

¥2,420 [税込]



9 78 4 7 6 6 4 2 8 8 1 0



こころ 改版(岩波文庫 緑 11-1)

夏目 漱石 著
岩波書店

この小説の主人公である「先生」は、かつて親友を裏切って死に追いやった過去を背負い、罪の意識にさいなまれつつ、まるで生命をひきずるようにして生きている。と、そこへ明治天皇が亡くなり、後をおって乃木大将が殉死するという事件がおこった。「先生」もまた死を決意する。だが、なぜ……。

毎日新聞 2023/06/24

1989:5./ 302p
978-4-00-310111-7

¥660 [税込]



9 78 4 0 0 3 1 0 1 1 1 7



私は河原乞食・考(岩波現代文庫 文芸 94)

小沢 昭一 著
岩波書店

大阪でトクダシ・ストリッパーから体験談を聞き、愛敬芸術と呼ばれる香具師の口上を採録し、ホモ・セクシュアルと芸の関係を考察する。歴史をさかのぼり被差別芸能民に思いを寄せ、精神医学の文献を渉猟し、芸とセックスの接点を探究して芸能の原点に迫る。

毎日新聞 2023/06/24

2005:9./ 420p
978-4-00-602094-1

¥1,100 [税込]



9 78 4 0 0 6 0 2 0 9 4 1



反戦川柳人 鶴彬の獄死(集英社新書 1156)

佐高 信 著
集英社

昭和初期、軍国主義に走る政府を、川柳を通じて真正面から批判し反戦を訴えた作家・鶴彬は、官憲に捕らえられ、獄中でなお抵抗を続けて憤死した。彼の生きた時代と、29年という短い生涯、精神を綴る。

毎日新聞 2023/06/24

2023:3./ 221p
978-4-08-721256-3

¥1,078〔税込〕



本当に欲しかったものは、もう〜Twitter 文学アンソロジー〜

麻布競馬場／霞が関バイオレット／かとう ゆうか／木爾 チレン／新庄 耕／外山 薫
／豊洲銀行 網走支店／pho／窓際三等兵／山下 素童 著

集英社

上司から凄まじいパワハラを受ける銀行員、恋愛リアリティショーに出演した女の末路...。空虚なスキマ時間で読み切れる22編の傑作ショートショートを収録した掌編集。Twitter掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/06/24

2023:4./ 173p
978-4-08-788089-2

¥1,430〔税込〕



墨のゆらめき

三浦 しをん 著
新潮社

都内の老舗ホテルに勤務する続力は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田薫を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。

毎日新聞 2023/06/24

2023:5./ 225p
978-4-10-454108-9

¥1,760〔税込〕



コメンテーター

奥田 英朗 著
文藝春秋

ワイドショーに出演することになった精神科医・伊良部とマユミ。放送事故寸前のコメントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か!? トンデモ精神科、復活! 表題作など全5編を収録する。『オール讀物』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/06/24

2023:5./ 271p
978-4-16-391687-3

¥1,760〔税込〕



イン・ザ・プール(文春文庫)

奥田 英朗 著
文芸春秋

水泳依存症、陰茎強直症、携帯電話依存症など、様々な病気に悩む患者たちが精神科医伊良部のもとへ。そこで待ち受ける前代未聞の体験。

毎日新聞 2023/06/24

2006:3./ 279p
978-4-16-771101-6

¥682〔税込〕





掬われる声、語られる芸〜小沢昭一と『ドキュメント日本の放浪芸』〜

鈴木 聖子 著
春秋社

俳優・小沢昭一が日本各地を探訪し、稀少な多種多様の音楽芸能とインタビューを現地録音した 1971 年発売の LP レコード集『ドキュメント日本の放浪芸』。制作の文脈・構成・内容を検討し、作品の意義を明らかにする。

毎日新聞 2023/06/24

2023:5./ 20p,269p,31p
978-4-393-44170-1

¥2,750 [税込]



タイポグラフィ・ブギー・バック〜ぼくらの書体クロニクル〜

正木 香子 著
平凡社

あの書体でなければ、あの名作は生まれなかった-。雑誌、マンガ、書籍、CD、テレビなど、さまざまなメディアの「書体」から、1990〜2010 年代の 30 年を読み解く。『ウェブ平凡』連載等に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2023/06/24

2023:3./ 251p
978-4-582-83919-7

¥2,530 [税込]



中野好夫論〜「全き人」の全仕事をめぐって〜

岡村 俊明 著
法政大学出版局

戦後日本を代表する翻訳者・文学者であり、いかなる権威にも媚びない在野的知識人であった中野好夫。その膨大な著作群をどう読むべきか。英文学研究から市民運動に及ぶその仕事の全体像を、彼自身の言葉を通して振り返る。

毎日新聞 2023/06/24

2023:6./ 22p,544p,12p
978-4-588-46021-0

¥5,170 [税込]



押絵と旅する男〜乱歩えほん〜

江戸川 乱歩、藤田 新策 著
あすなろ書房

富山県魚津へ蜃気楼を見にいった私は、帰りの汽車の中で、老人と美しい娘を押絵細工で描いた絵を持つ異様な男に出会い…。江戸川乱歩の世にも奇妙な物語を、奇才・藤田新策が描く。

毎日新聞 2023/06/24

2023:5.
978-4-7515-3120-4

¥2,530 [税込]



路線価図でまち歩き〜土地の値段から地域を読みとく〜

中川 寛子 著
学芸出版社

すぐ近くののに価格差 10 倍!? 路線価図から地域の本当の姿が見えてくる! 家選び・不動産投資・まちづくりに役立つ知識がやさしく身につく、新しいまち歩き入門。全国 15 ケ所の「紙上再現!路線価図でまち歩き」も収録。

毎日新聞 2023/06/24

2023:5./ 223p
978-4-7615-2851-5

¥2,530 [税込]





信頼の経済学～人類の繁栄を支えるメカニズム～

ベンジャミン・ホー 著

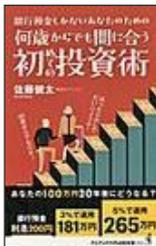
慶應義塾大学出版会

少人数の集まりから巨大な社会を築く根底には「信頼」のメカニズムが働いており、市場・法の支配から科学・気候問題まで、信頼なくしては存立しない。気鋭の経済学者が人類はいかにして互いを信頼するようになったかを論じる。

毎日新聞 2023/06/24

2023:6./ 4p,332p
978-4-7664-2882-7

¥3,520〔税込〕



何歳からでも間に合う初めての投資術～銀行預金しかないあなたのための～ (ワニブックス|PLUS|新書 383)

佐藤 健太 著

ワニブックス

「銀行=安全、投資=危険」は非常識。「想定外」を想定した人生 100 年時代のマネープラン、手元のお金に働いてもらうカンタン投資術、知らないと大損するマネーの種など、何歳からでも間に合う投資術・節約術を解説する。

毎日新聞 2023/06/24

2023:6./ 254p
978-4-8470-6207-0

¥990〔税込〕



ハンセン病家族訴訟～裁きへの社会学的関与～

黒坂 愛衣、福岡 安則 著

世織書房

2016 年初春、熊本地方裁判所へ提訴した 568 人のハンセン病家族。原告の大半が匿名なのはなぜか。ハンセン病家族たちのライフストーリーの聞き取りを重ねた著者たちが、社会的差別の実相を明かす。

毎日新聞 2023/06/24

2023:2./ 20p,294p
978-4-86686-030-5

¥3,300〔税込〕



本と貝殻～書評/読書論～

管 啓次郎 著

コトニ社

本を手にとる。ページをランダムに開く。そんな習慣を勧めたい。稀代のエッセイストが本に触れたいと望む人々へおくる、読書の方法と書物への讃歌。様々な媒体に書いた書評や読書の手引きの中から厳選したテキストを収録。

毎日新聞 2023/06/24

2023:6./ 317p
978-4-910108-11-7

¥2,750〔税込〕



一週間、その他の小さな旅

管 啓次郎 著

コトニ社

月曜日 たくさん月が昇る 見上げる人の数だけ にぎやかな夜空 火曜日 みんなで焚き火をたこう 冷たい手やおしりを よくあたためて(「一週間」より) やさしい言葉がつむぐ毎日の旅への誘い。第 9 詩集。

毎日新聞 2023/06/24

2023:6./ 141p
978-4-910108-12-4

¥2,640〔税込〕

